

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果報告書



岩見沢市教育委員会(岩見沢市立教育研究所)

令和6年(2024年)3月

目

次

<p>I 調査の概要 P 1～P 2 (1 調査の目的 2 調査の対象及び内容 3 調査の実施状況) ■ 用語解説と説明 <標準体重と肥満度判定></p> <p>II 調査結果の概要</p> <p>1 児童生徒の体力 P 3～P 4</p> <p>2 実技に関する調査結果 【小学校】 P 5～P 6 (1) 各種目の記録と体力合計点 (T得点を含む) (2) 実技調査T得点と総合評価 【中学校】 P 7～P 8 小項目【小学校】と同様</p> <p>3 児童生徒の運動時間 (体育の授業を除く。) . . . P 9～P 10</p> <p>4 体格と肥満度に関する調査結果 【小学校】 P 11～P 12 (1) 体格の記録及び肥満度等の出現率 (2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較</p>	<p>【中学校】 P 13～P 14 小項目は【小学校】と同様</p> <p>5 児童生徒質問紙の調査結果 【小学校】 P 15～P 19 【中学校】 P 20～P 24</p> <p>6 学校質問紙の調査結果 【小学校】及び【中学校】 P 25～P 31</p> <p>III 調査結果から P 32～P 35</p> <p>1 体力・運動能力等調査の全体的な傾向</p> <p>2 児童生徒質問紙の特徴的な事項</p> <p>3 調査結果を踏まえた各学校が取り組みべき岩見沢市の5つの方策</p>
---	--

I 調査の概要

1 調査の目的

- 全国的な児童生徒の体力等の状況を把握・分析することにより、児童生徒の体力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣・生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象及び調査内容

<p>(1) 児童</p> <p>① 調査対象者 小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員</p> <p>② 調査内容 ア 実技に関する調査 〈テスト項目〉 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）</p>	<p>(2) 生徒</p> <p>① 調査対象者 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員</p> <p>② 調査内容 ア 実技に関する調査 〈テスト項目〉 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）</p>
<p>(3) 学校</p> <p>① 調査対象者・・・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校</p> <p>② 調査内容・・・質問紙調査（児童生徒の体力等の向上に係る学校の取組等）</p>	

3 調査の実施状況

	参加学校数（校）			児童生徒数（人）								
	岩見沢	北海道	全 国	岩 見 沢			北 海 道			全 国		
				男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計
小学校	14	963	18,693	277	245	522	18,814	18,162	36,976	498,654	479,104	977,758
中学校	9	597	9,426	274	256	530	17,904	16,701	34,605	446,511	421,336	867,847
合 計	23	1,560	28,119	551	501	1,052	36,718	36,819	71,581	945,165	900,440	1,845,605

■ 用語解説と説明・★このファイルに含まれるシートの説明は、「CDの活用法」をご覧ください。性別不明は集計からはずしています。
 体力テスト種目の集計は、種目別に上限値・下限値を超えるデータを集計からはずしています。

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に八股跳躍した回数
⑤-1	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
⑤-2	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	cm	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ハンドボール投げ	m	巧緻性	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体力テストを全て実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評価した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値 = 調査結果の総和 / 標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差 = 分散の平方根、分散 = 偏差平方和 / (標本数 - 1)、偏差平方和 = 偏差の平方の総和、偏差 = 調査結果 - 平均値」
T得点	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点 = 50 + 10 × (調査結果 - 平均値) / 標準偏差」

〈標準体重と肥満度判定〉 「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

・標準体重 = a × 身長(cm) - b	・肥満度(%) = [自分の体重(kg) - 標準体重(kg) ÷ 標準体重(kg) × 100]
------------------------	---

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
12(中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13(中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14(中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	普通
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

※公立校の全国・都道府県の値は公立校を対象としたもの。(指定都市のある都道府県の値は指定都市を含まない値)

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

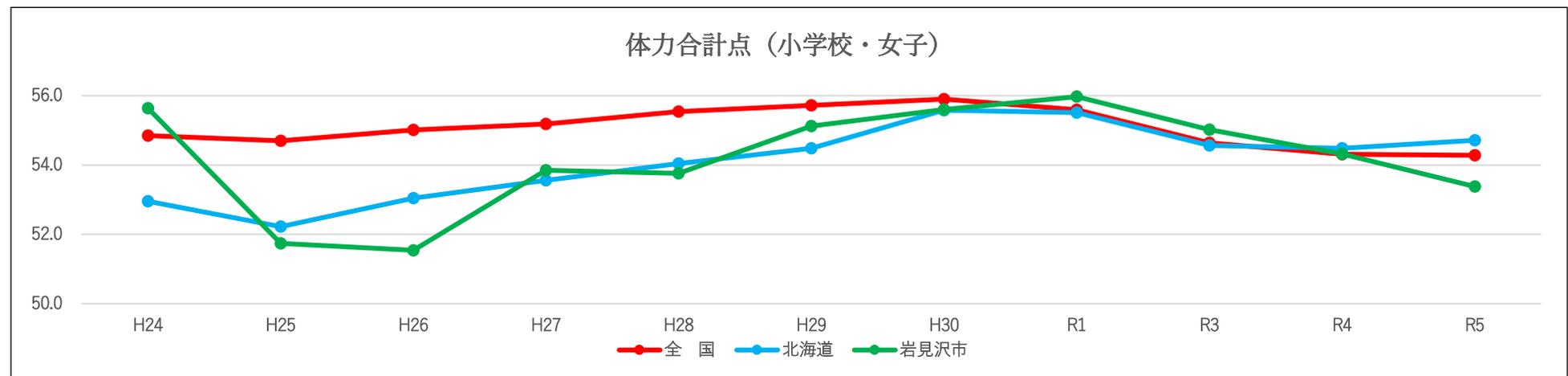
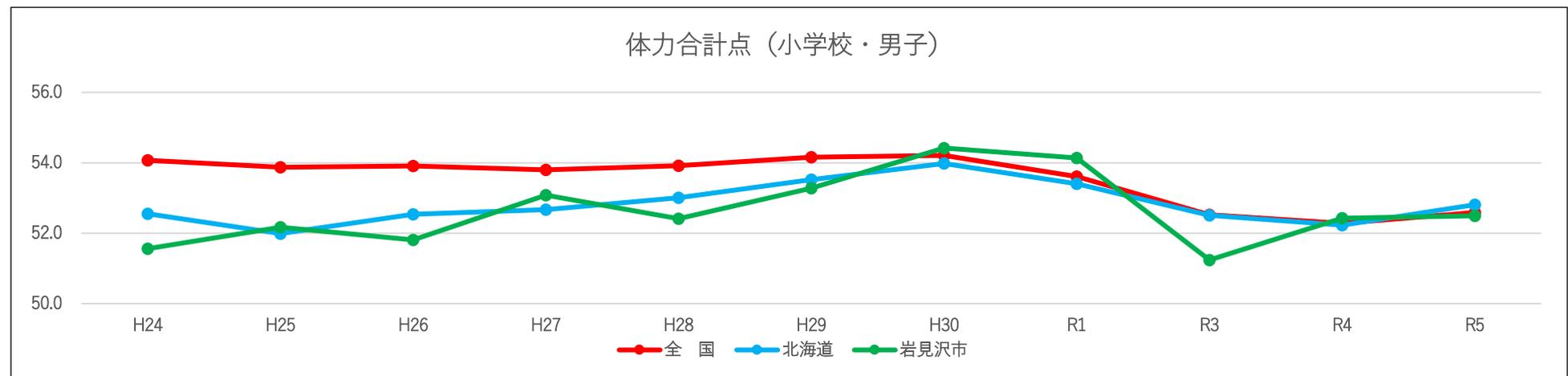
II 調査結果の概要

1 児童生徒の体力

(1)体力合計点の経年変化

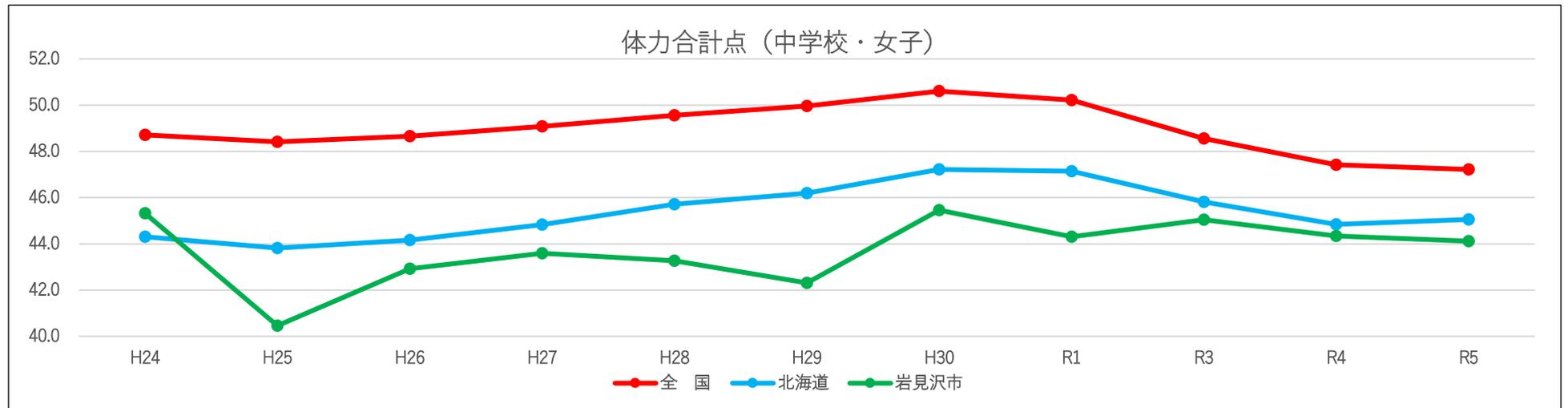
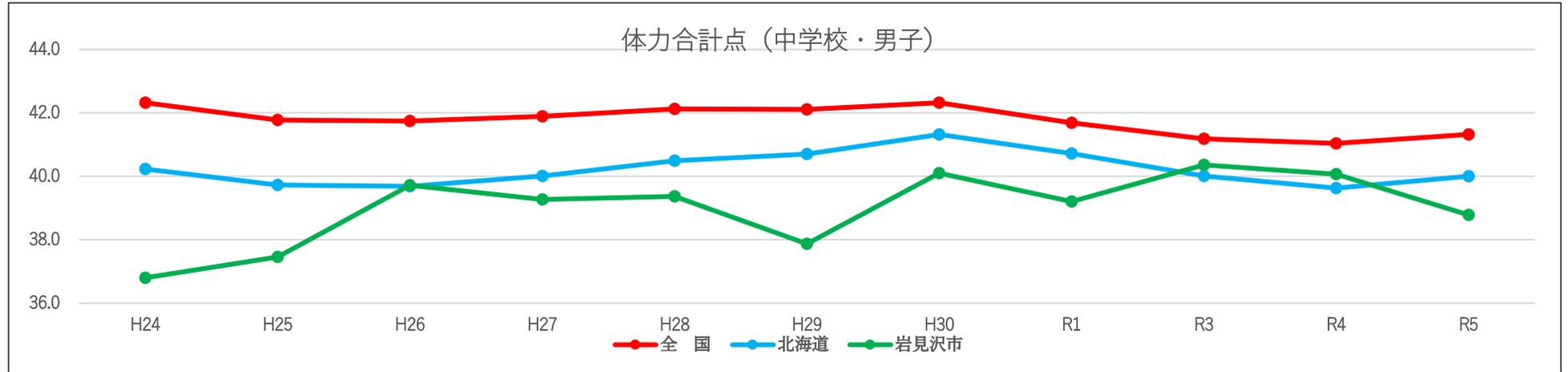
(小学校)

体力合計点について、小学校男・女は、令和元年度までは上昇傾向にあったが、令和3年度に低下し、その後、男子はやや回復したが、女子は下降傾向が続いている。



(中学校)

体力合計点について、中学校男・女は、平成24年度から今年度まで全国平均を大きく下回っている。平成30年度に男女ともやや上昇したが、今年度は下降した。



II 調査結果の概要

2 実技に関する調査結果【小学校】 ○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（男子）

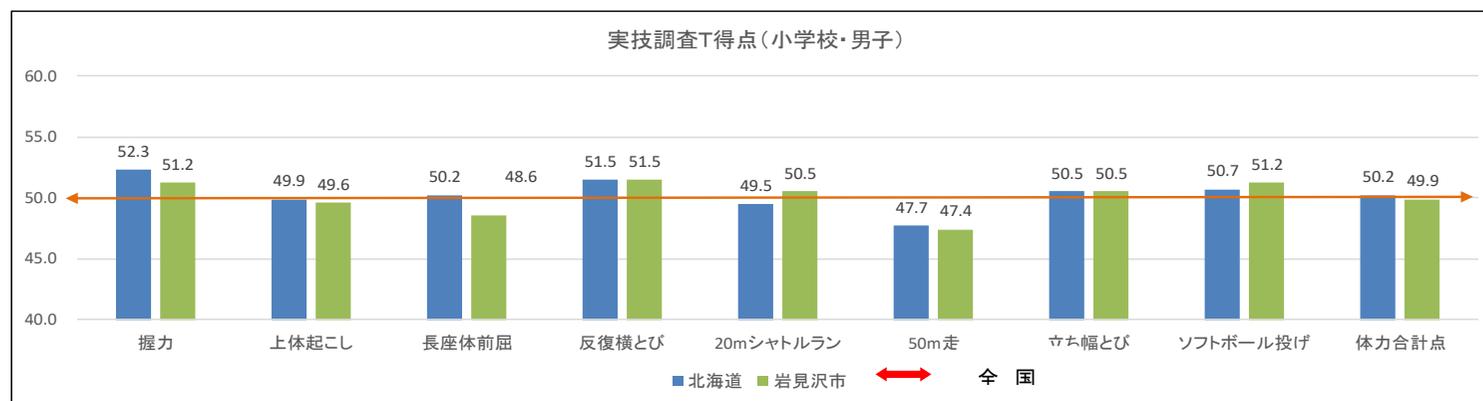
小学校 5年男子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	16.13	50.0	19.00	50.0	33.98	50.0	40.60	50.0	46.92	50.0	9.48	50.0	151.13	50.0	20.52	50.0	52.59	50.0
北海道	17.00	52.3	18.97	49.9	34.17	50.2	41.83	51.5	45.76	49.5	9.75	47.7	152.37	50.5	21.06	50.7	52.81	50.2
岩見沢市	16.58	51.2	18.76	49.6	32.72	48.6	41.83	51.5	47.94	50.5	9.78	47.4	152.27	50.5	21.51	51.2	52.49	49.9

○実技調査 T 得点（男子）

〈考察〉

小学校5年男子の各種目の記録は、8種目中、握力、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目が全国の平均値を上回った。

また、体力合計点は全国の平均値とほぼ同数であった。

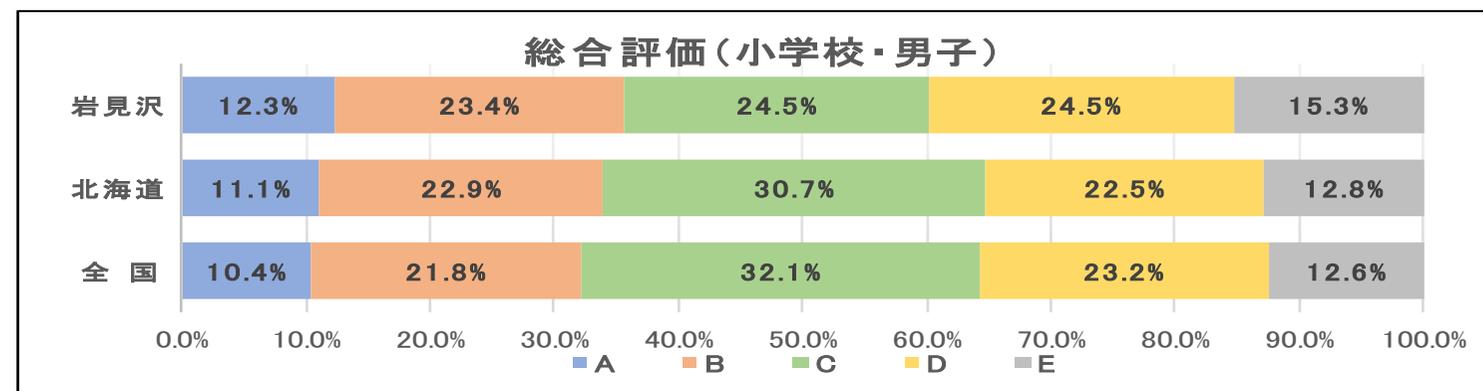


○総合評価（男子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価とB評価はやや多い。

D評価とE評価も多いことから、中間層が少ない二極化の傾向にあると言える。



○各種目の記録と体力合計点（T 得点を含む）（女子）

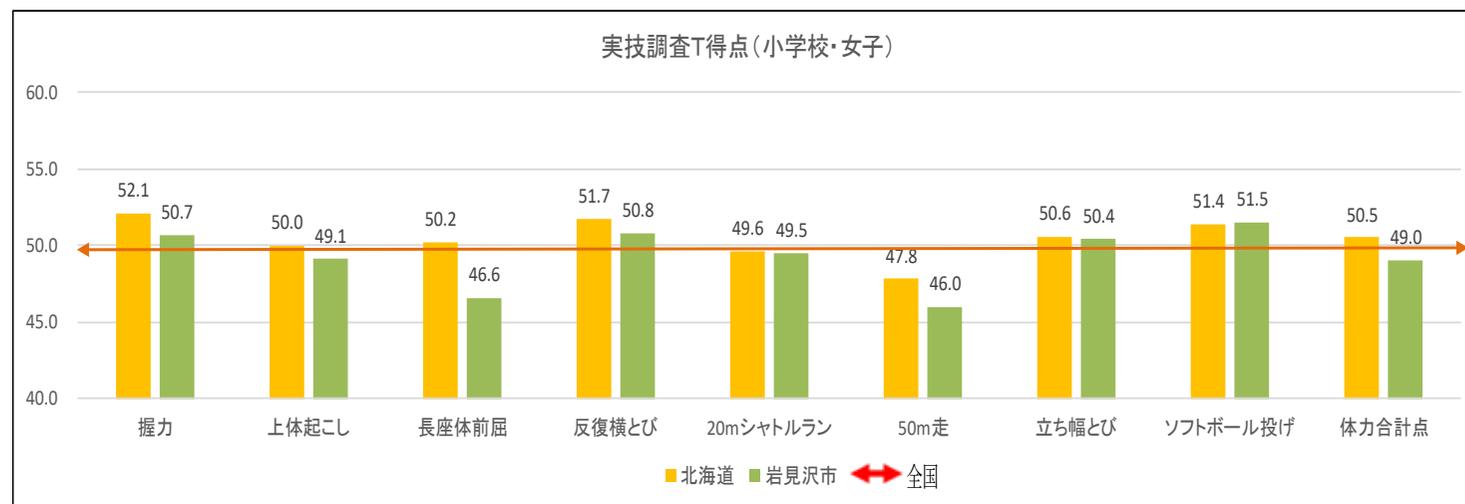
小学校 5年女子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	16.01	50.0	18.05	50.0	38.45	50.0	38.73	50.0	36.80	50.0	9.71	50.0	144.29	50.0	13.22	50.0	54.28	50.0
北海道	16.85	52.1	18.05	50.0	38.60	50.2	39.96	51.7	36.12	49.6	9.92	47.8	145.56	50.6	13.91	51.4	54.71	50.5
岩見沢市	16.28	50.7	17.58	49.1	35.38	46.6	39.34	50.8	35.98	49.5	10.08	46.0	145.26	50.4	13.95	51.5	53.38	49.0

○実技調査 T 得点（女子）

〈考察〉

小学校5年女子の各種目の記録は、8種目中、握力、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げの4種目が全国の平均値を上回った。

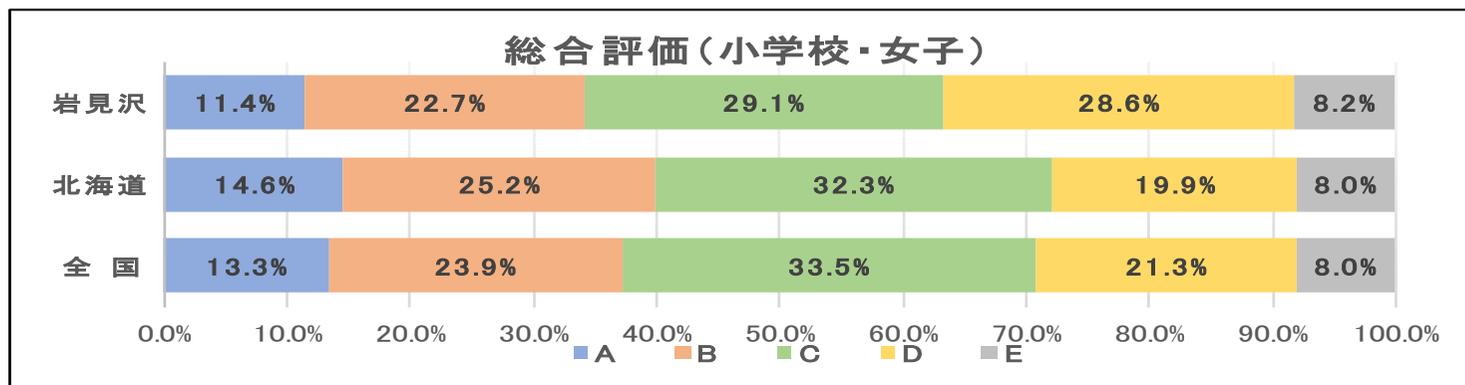
一方、体力合計点は全国の平均値をやや下回った。



○総合評価（女子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価とB評価は少ない。D評価は7.3ポイント多い。中間層も少ないことから、運動がやや苦手な児童が多い傾向にある。



【中学校】

○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（男子）

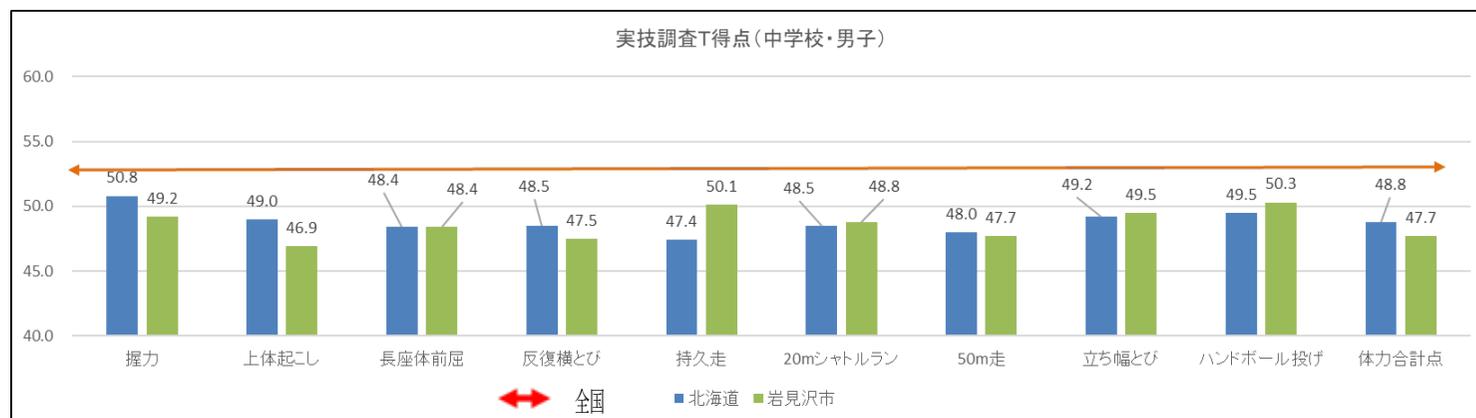
中学校 2年男子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	29.02	50.0	25.82	50.0	44.16	50.0	51.22	50.0	409.02	50.0	78.07	50.0	8.01	50.0	197.02	50.0	20.40	50.0	41.32	50.0
北海道	29.57	50.8	25.17	49.0	42.38	48.4	49.87	48.5	426.84	47.4	74.26	48.5	8.20	48.0	194.57	49.2	20.08	49.5	40.00	48.8
岩見沢市	28.41	49.2	23.91	46.9	42.38	48.4	49.07	47.5	408.29	50.1	75.11	48.8	8.23	47.7	195.36	49.5	20.56	50.3	38.78	47.7

○実技調査 T 得点（男子）

〈考察〉

中学校2年男子の各種目の記録は、9種目中、持久走とハンドボール投げの2種目が全国の平均値を上回った。

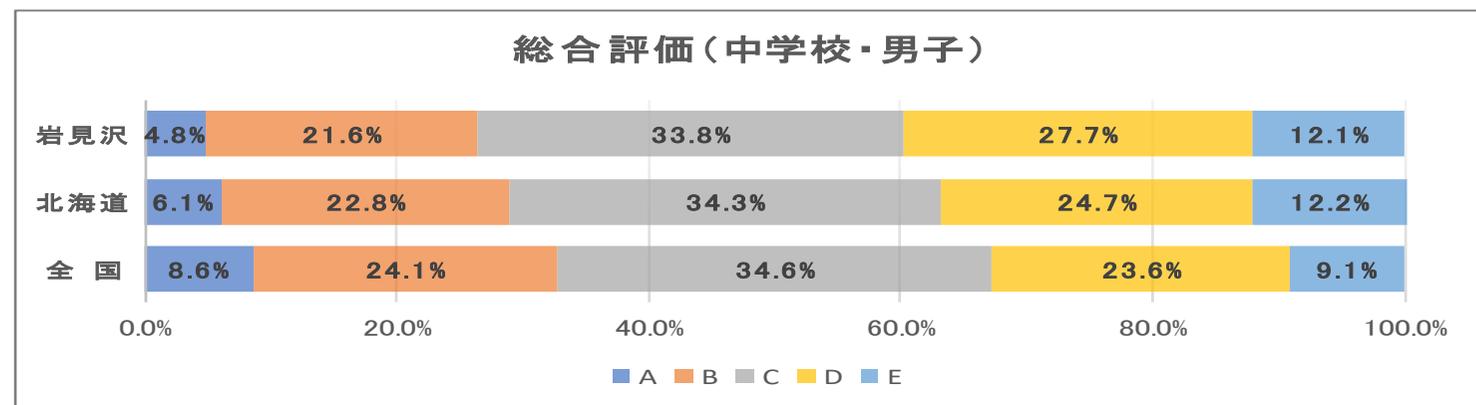
一方、体力合計点は、全国の平均値を下回った。



○総合評価（男子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価が3.8ポイント少なく、E評価は3.0ポイント多い。D評価も4.1ポイント多いことから運動が苦手な生徒が多いと言える。



○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（女子）

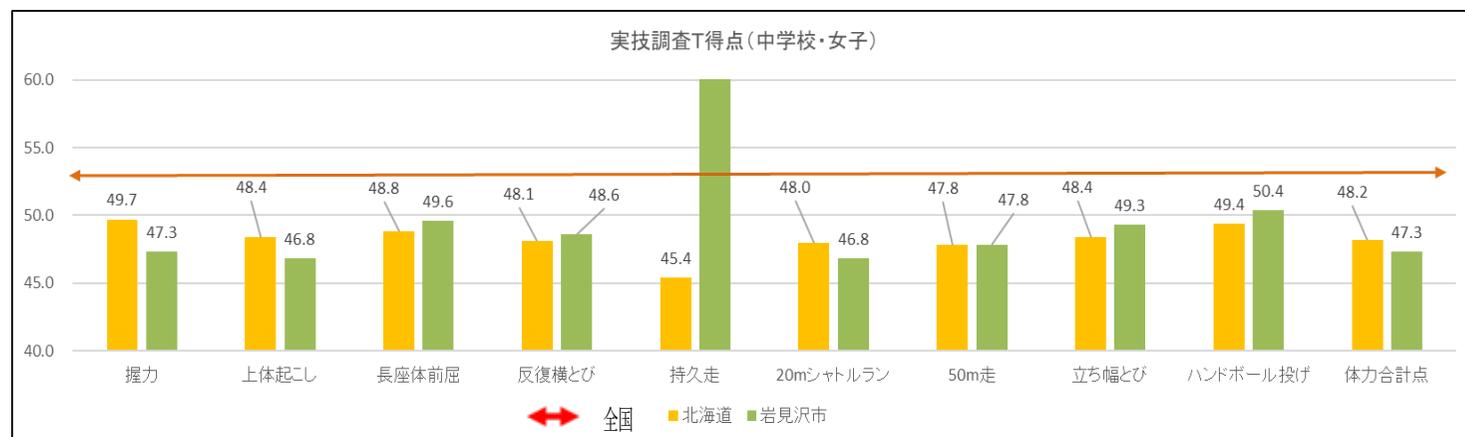
中学校 2年女子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	23.15	50.0	21.62	50.0	46.27	50.0	45.65	50.0	306.26	50.0	50.70	50.0	8.95	50.0	166.34	50.0	12.43	50.0	47.22	50.0
北海道	23.03	49.7	20.67	48.4	45.02	48.8	44.28	48.1	328.86	45.4	46.73	48.0	9.15	47.8	162.04	48.4	12.17	49.4	45.06	48.2
岩見沢市	21.90	47.3	19.68	46.8	45.86	49.6	44.59	48.6	241.50	63.1	44.55	46.8	9.15	47.8	164.36	49.3	12.59	50.4	44.12	47.3

○実技調査 T得点（女子）

〈考察〉

中学校2年女子の各種目の記録は、9種目中、持久走とハンドボール投げの2種目が全国の平均値を上回った。

一方、体力合計点は、全国の平均値を大きく下回った。

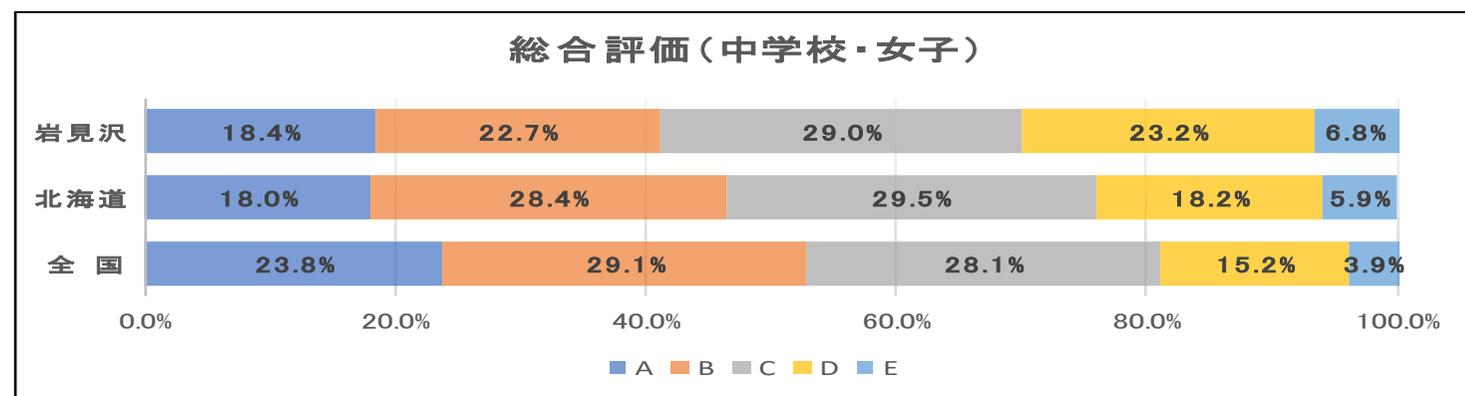


○総合評価（女子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価が5.4ポイント少ない。

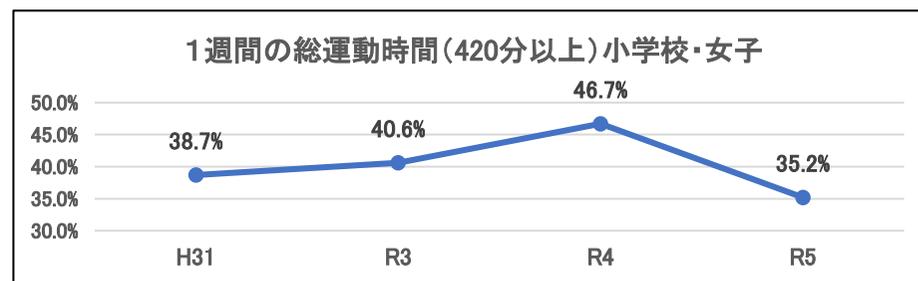
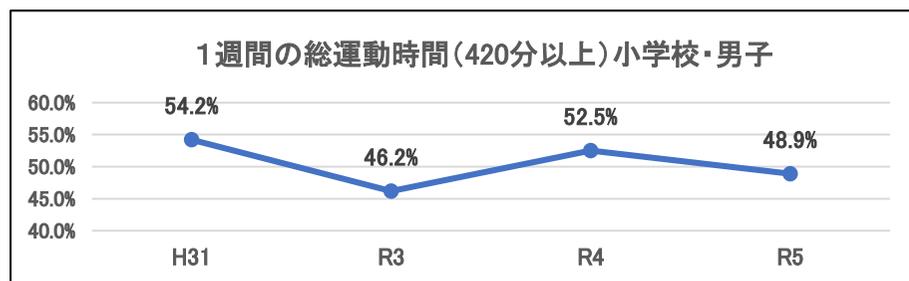
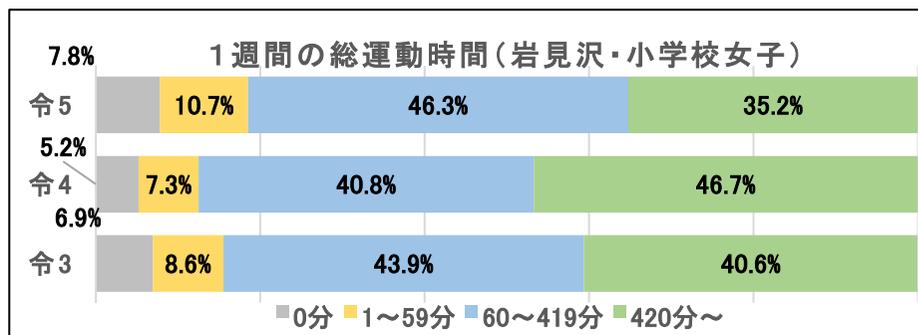
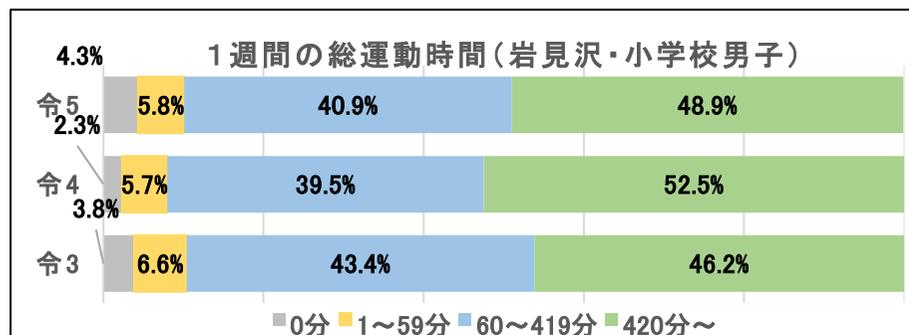
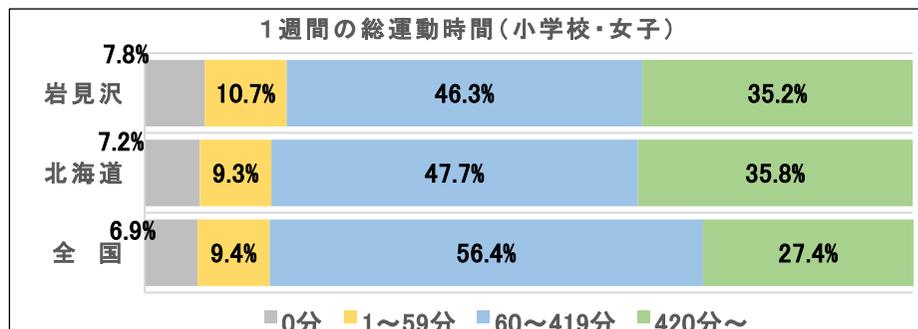
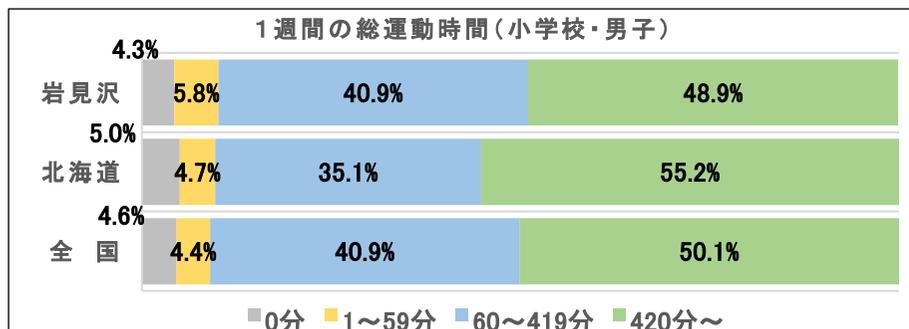
D評価が8.0ポイント、E評価が2.9ポイント多いことから、運動が苦手な生徒が多いと言える。



3 児童生徒の運動時間（体育の授業を除く。）

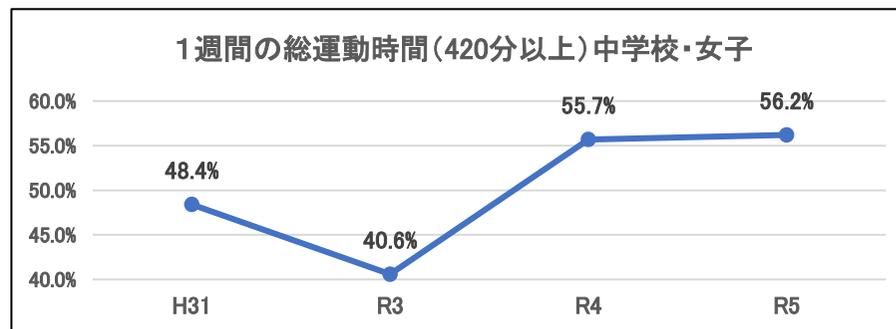
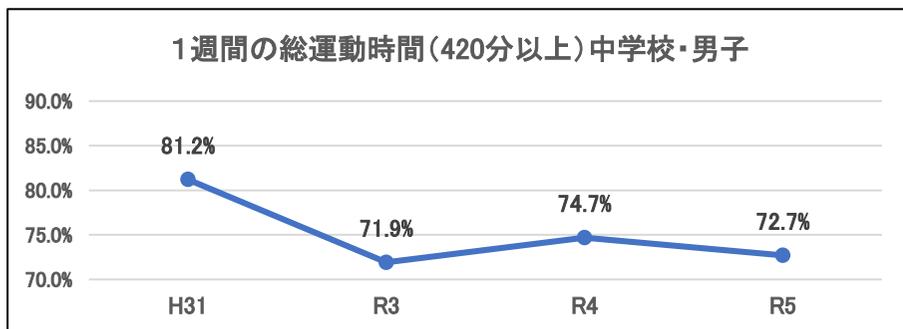
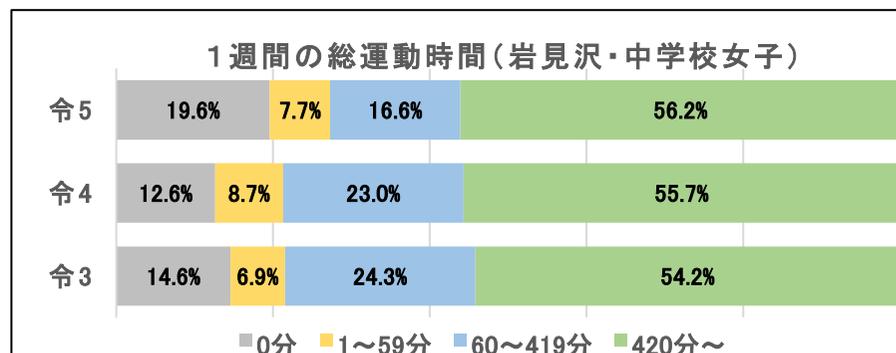
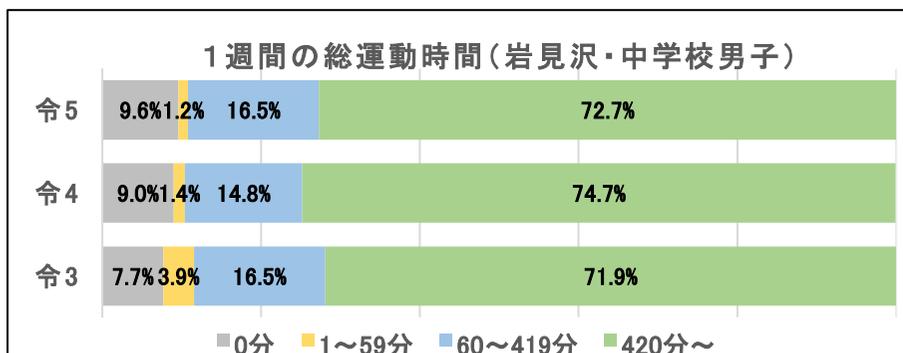
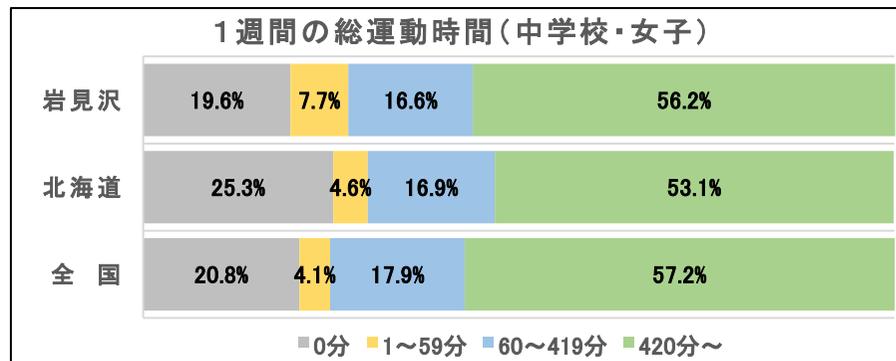
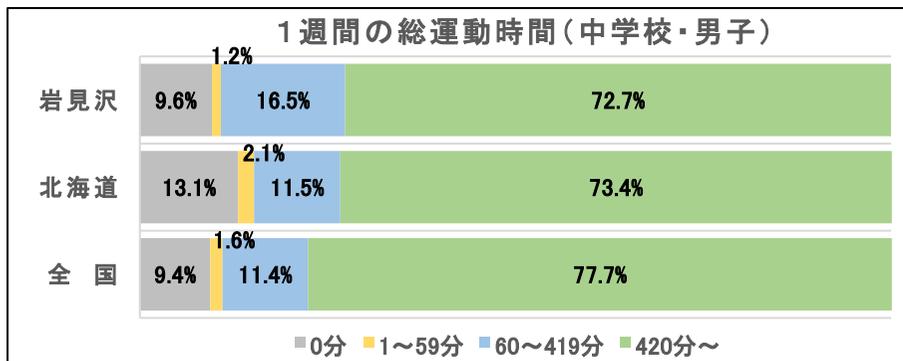
1週間の総運動時間が420分以上の割合は、全国と比べ、小学校の男子は下回り、女子は上回っている。中学校は男女ともに下回っている。一方、平成31年度からの4年間を比べると小学校男子は増減を繰り返し、女子は上昇から下降に転じた。中学校男子は下降してから横ばい、女子は下降から上昇に転じた。

(1) 小学校



（考察） 1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒の割合は、全国と比べ、男子は1.2ポイント下回り、女子は7.8ポイント上回っている。また、令和4年度と比べると420分以上の児童の割合は、男子は3.6ポイント、女子は11.5ポイント下回っている。

(2) 中学校



(考察) 1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は、全国と比べ、男子は5.0ポイント、女子は1.0ポイント下回っている。一方、令和4年度と比べると420分以上の生徒の割合は、男子は2.0ポイント下回り、女子は0.5ポイント上回っている。

4 体格と肥満度に関する調査結果

【小学校】

(1) 体格の記録及び肥満度等の出現率

小学校 5年男子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	139.61	50.0	35.35	50.0	1.4%	5.6%	6.7%	83.5%	2.7%	0.1%
北海道	140.03	50.7	37.03	52.1	2.7%	9.3%	8.4%	77.2%	2.3%	0.0%
岩見沢市	139.89	50.4	36.65	51.6	2.5%	7.9%	9.0%	76.5%	3.6%	0.4%

〈考察〉

小学校5年生男子の体格は全国と比べ、身長、体重共にやや上回っている。

肥満度等は、高度・中等度・軽度肥満が全国と比べやや上回っており、やせもやや上回っている。普通が少ないことから二極化の傾向にある。

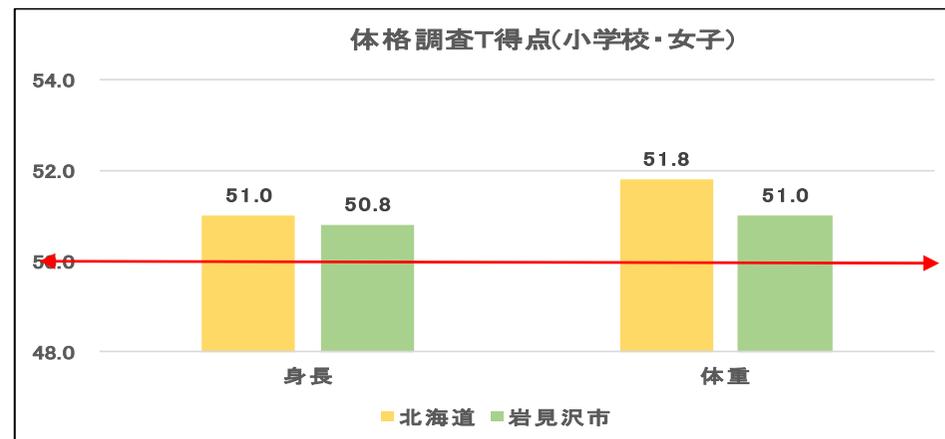
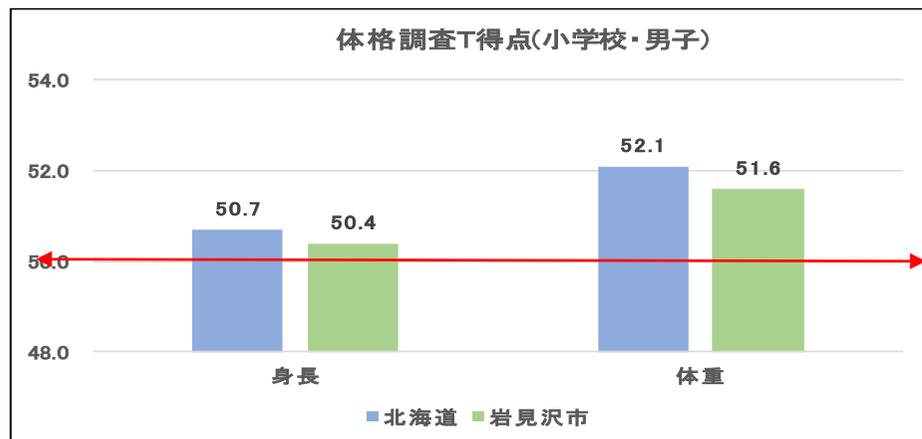
小学校 5年女子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	141.26	50.0	35.24	50.0	0.8%	3.7%	5.3%	87.4%	2.8%	0.1%
北海道	141.92	51.0	36.57	51.8	1.5%	5.9%	6.6%	83.1%	2.9%	0.1%
岩見沢市	141.79	50.8	35.95	51.0	2.4%	4.9%	6.5%	82.0%	4.1%	0.0%

〈考察〉

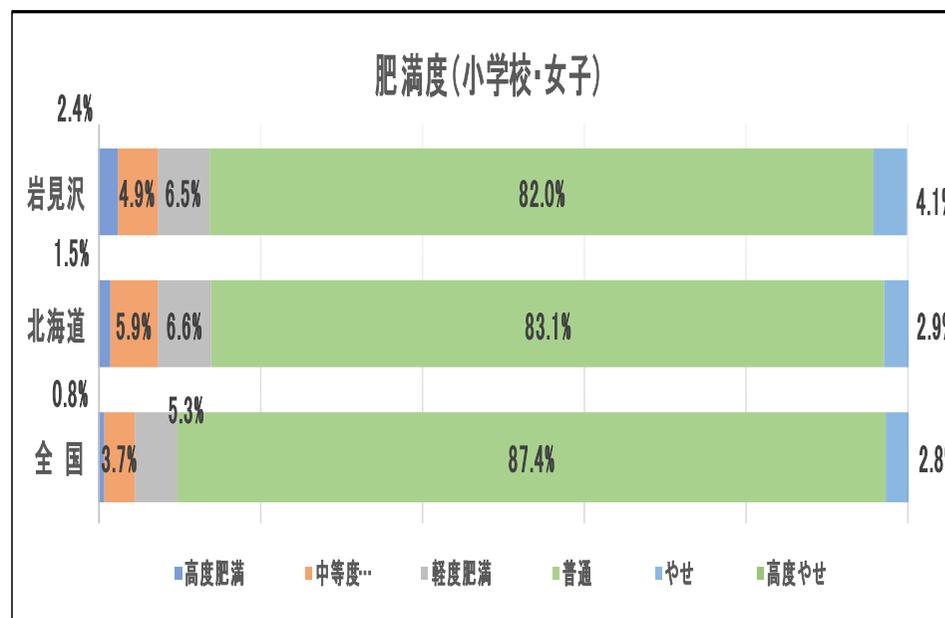
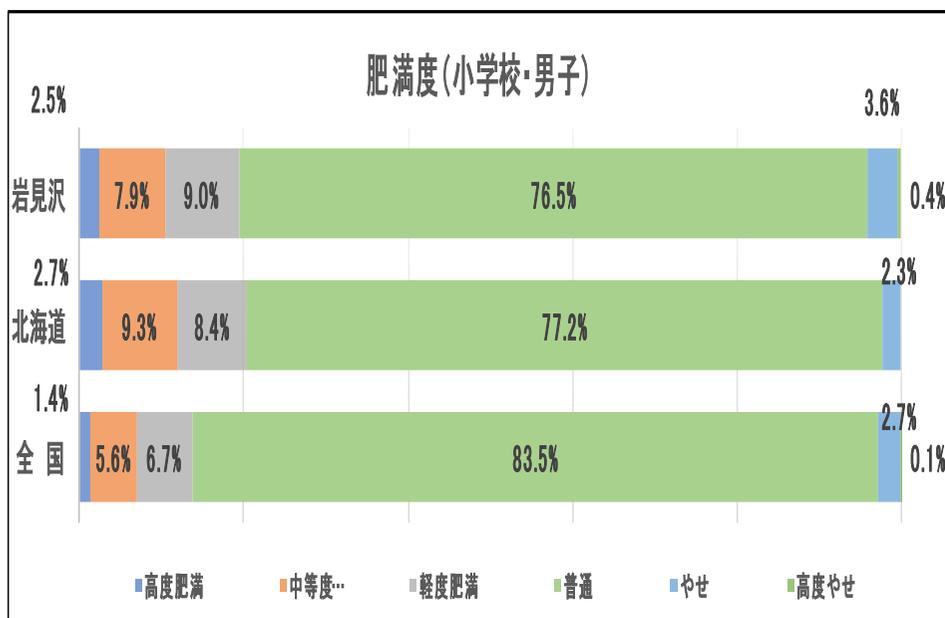
小学校5年生女子の体格は全国と比べ、身長、体重共にやや上回っている。

肥満度等は、高度・中等度・軽度肥満が全国と比べやや上回っており、やせもやや上回っている。普通が少ないことから二極化の傾向にある。

(2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較
 <体格:全国を50とした時の偏差値(T得点)で表示>



<肥満度傾向児・痩身傾向児の出現率>



【中学校】

(1)体格の記録及び肥満度等の出現率

中学校 2年男子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	161.17	50.0	50.22	50.0	1.5%	4.1%	5.0%	86.2%	3.0%	0.2%
北海道	162.22	51.4	52.29	52.0	2.6%	6.3%	5.7%	82.3%	2.9%	0.2%
岩見沢市	162.38	51.6	51.84	51.6	2.0%	4.7%	7.8%	82.7%	2.4%	0.4%

〈考察〉

中学校2年生男子の体格は全国と比べ、身長、体重共に上回っている。

肥満度等は、高度・中等度肥満・軽度肥満が全国と比べやや上回っている。普通とやせは少ないことから肥満傾向にある。

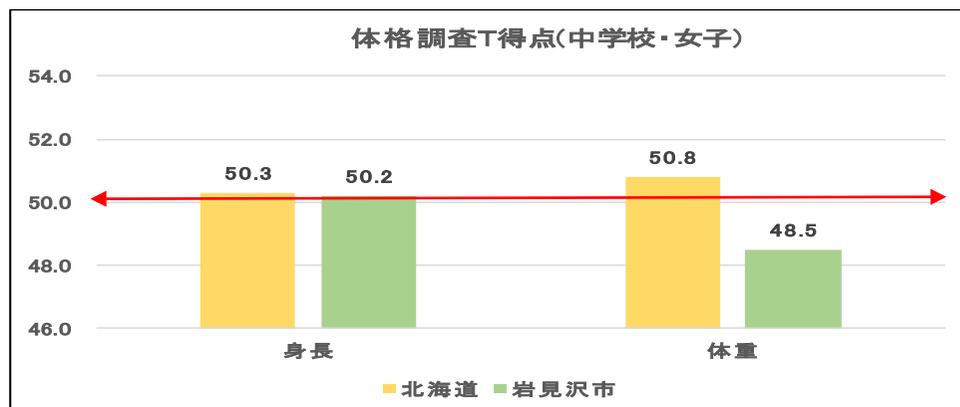
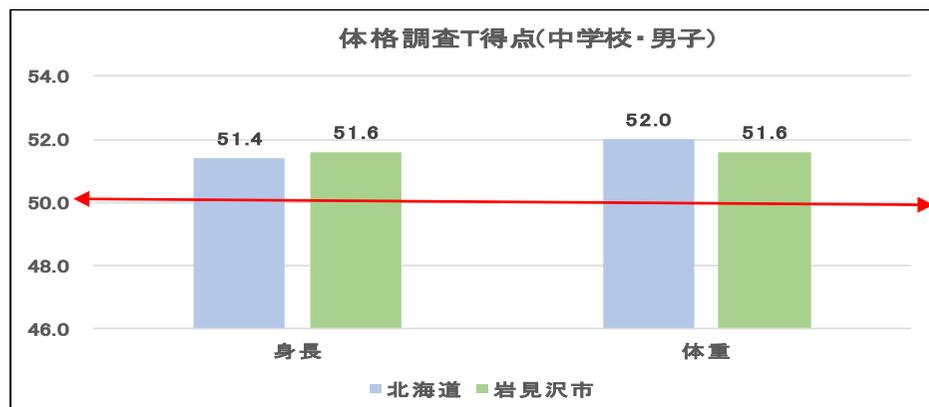
中学校 2年女子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	154.94	50.0	46.87	50.0	0.6%	2.4%	4.0%	88.9%	3.8%	0.2%
北海道	155.13	50.3	47.44	50.8	1.1%	3.5%	4.5%	87.0%	3.8%	0.2%
岩見沢市	155.03	50.2	45.77	48.5	0.0%	3.8%	2.5%	84.9%	8.8%	0.0%

〈考察〉

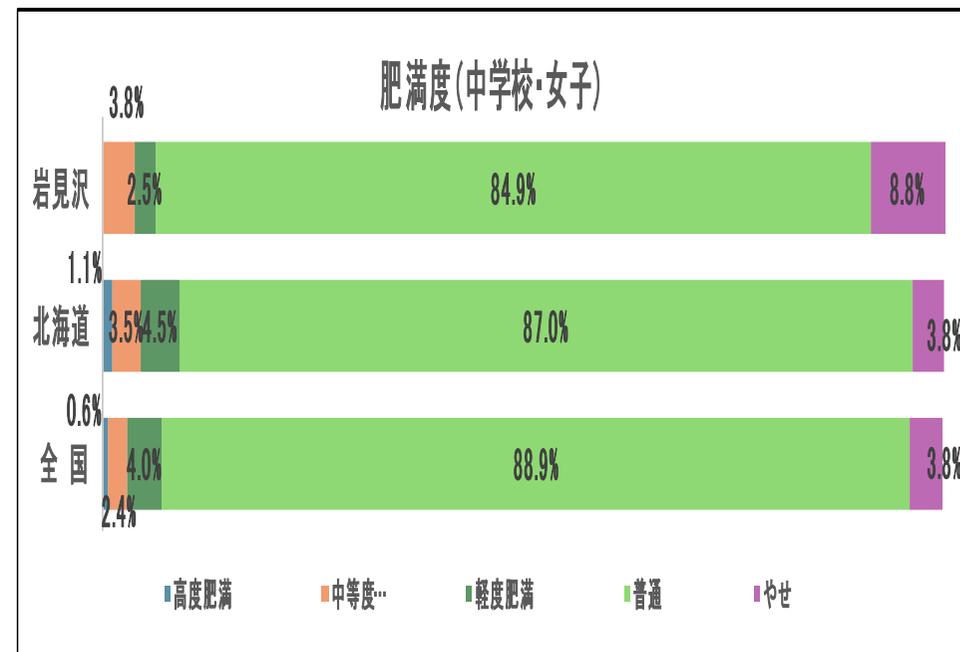
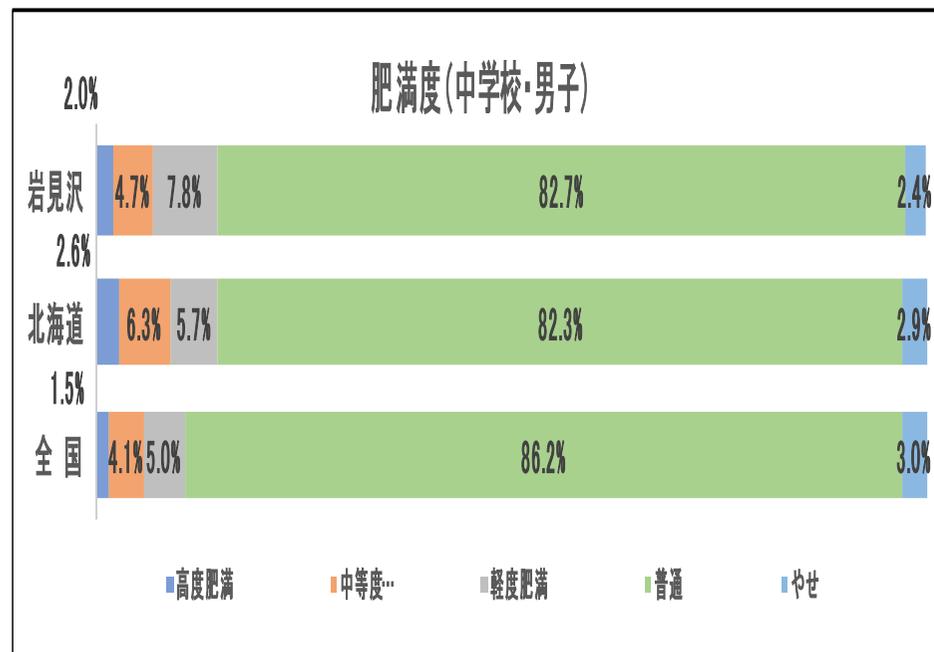
中学校2年生女子の体格は全国と比べ、身長はやや上回っており、体重は下回っている。

肥満度等は、中等度肥満が全国と比べやや上回ったが、やせが大きく上回っており、普通も少ないことから痩身傾向にある。

(2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較
 <体格:全国を50とした時の偏差値(T得点)で表示>



<肥満度傾向児・痩身傾向児の出現率>

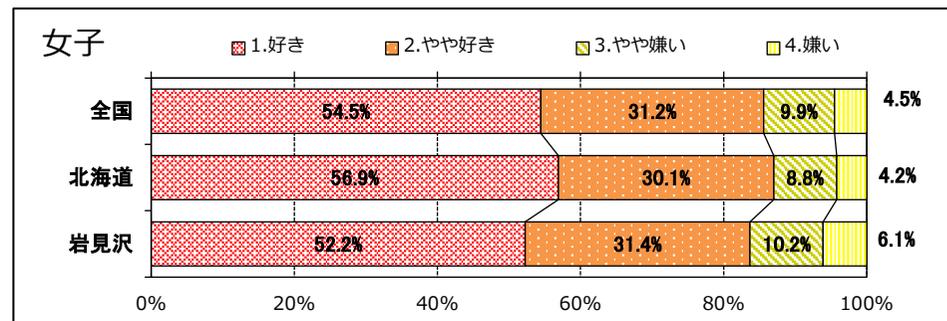
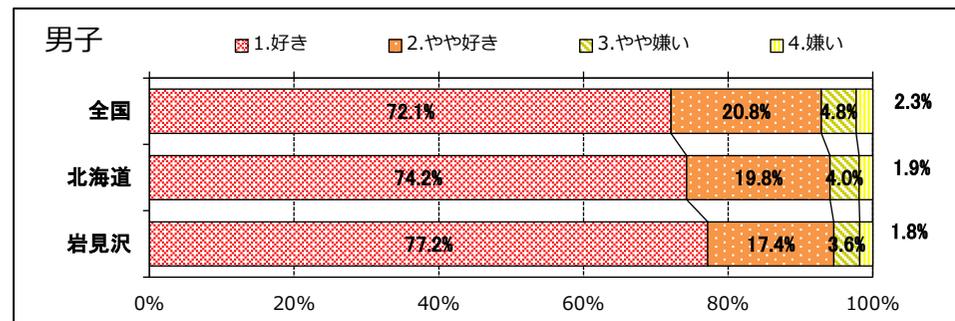


5 児童生徒質問紙の調査結果

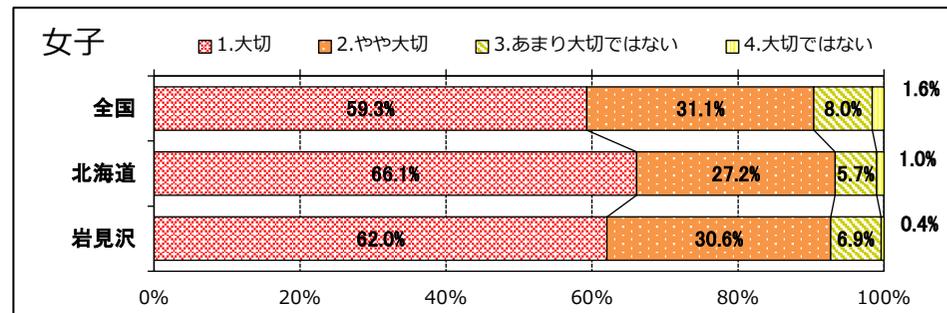
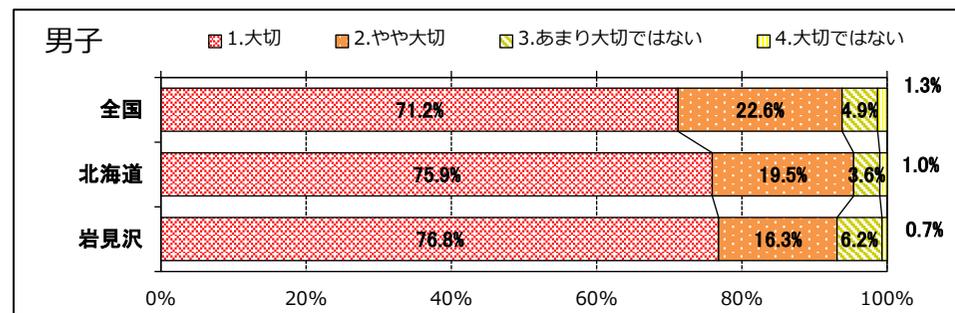
【小学校】

(*グラフは数値の3%前後のものについては表示しない。基本的には男子は左側、女子は右側に表示する。)

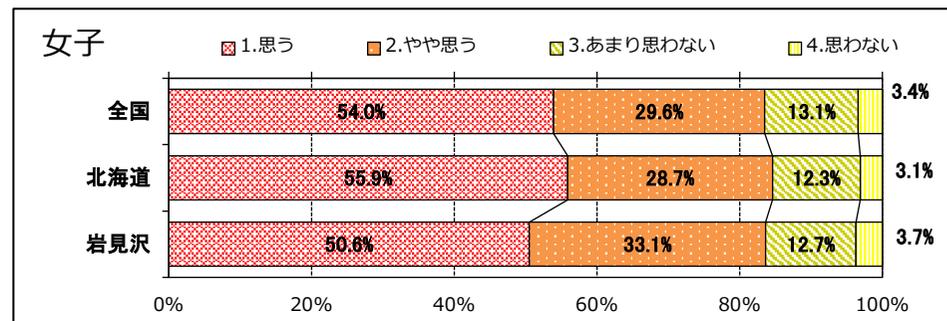
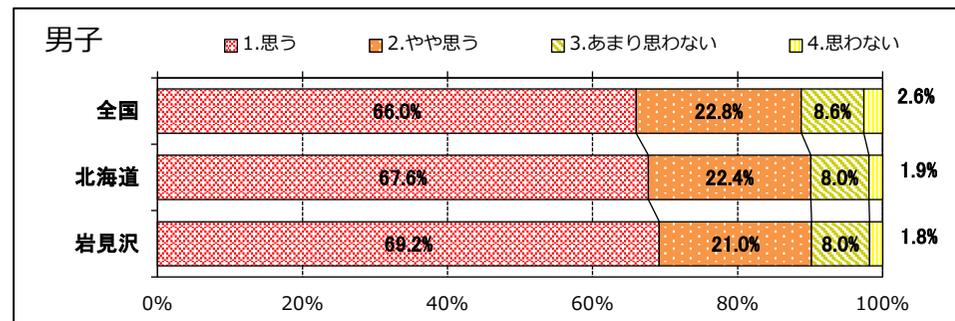
質問1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



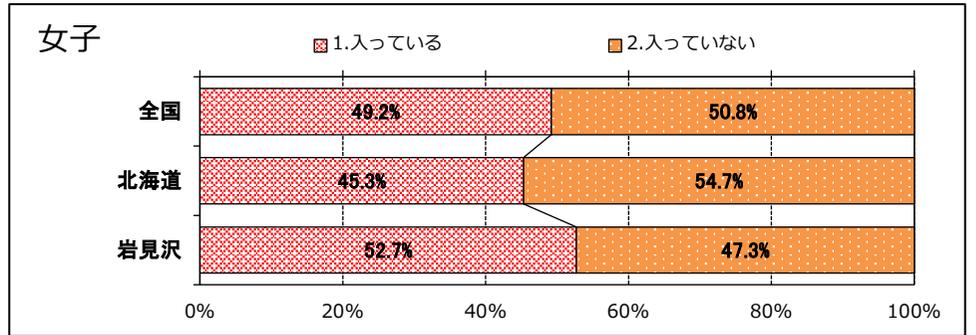
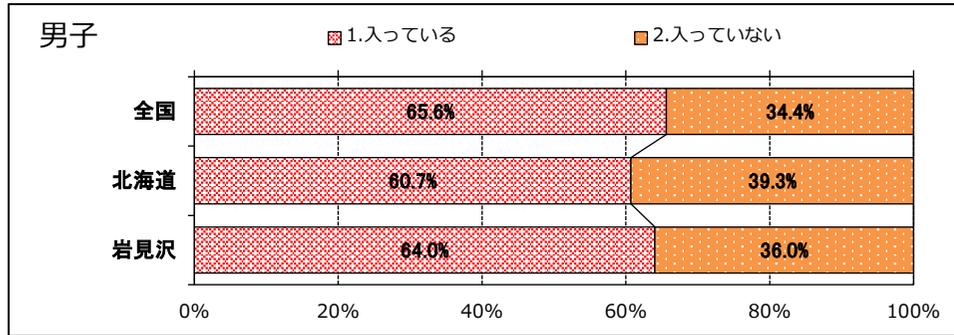
質問2 あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。



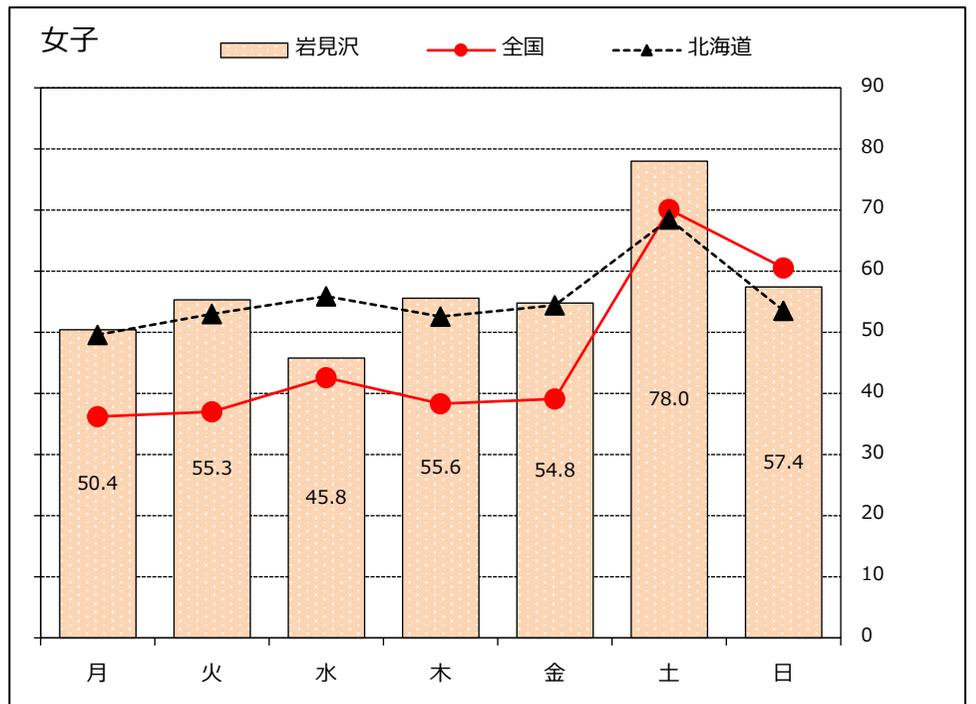
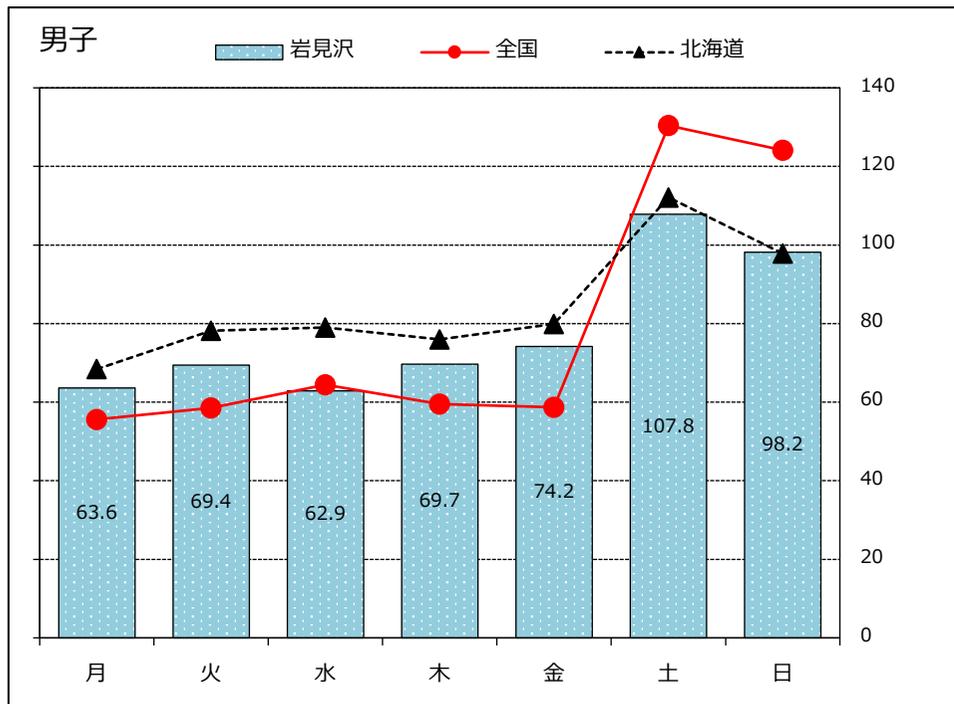
質問3 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



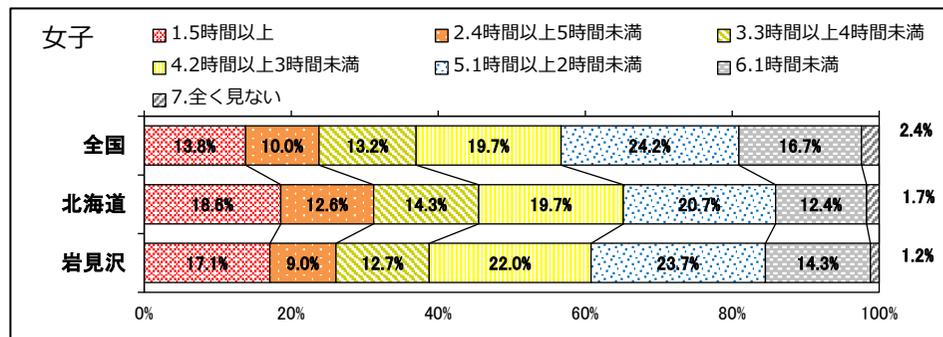
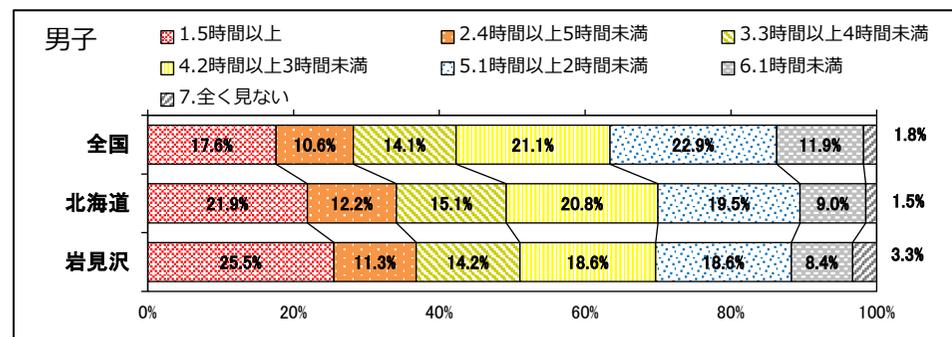
質問4 地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む）に入っていますか。



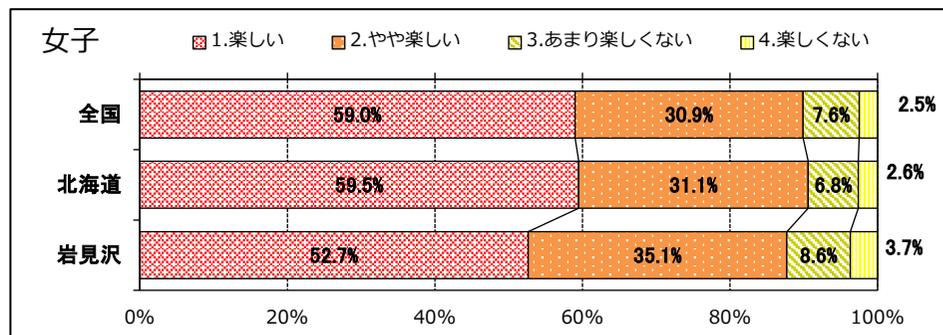
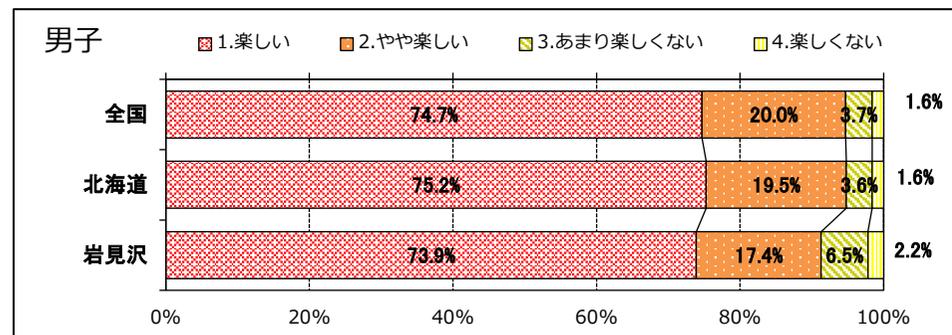
質問5 ふだんの一週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか。



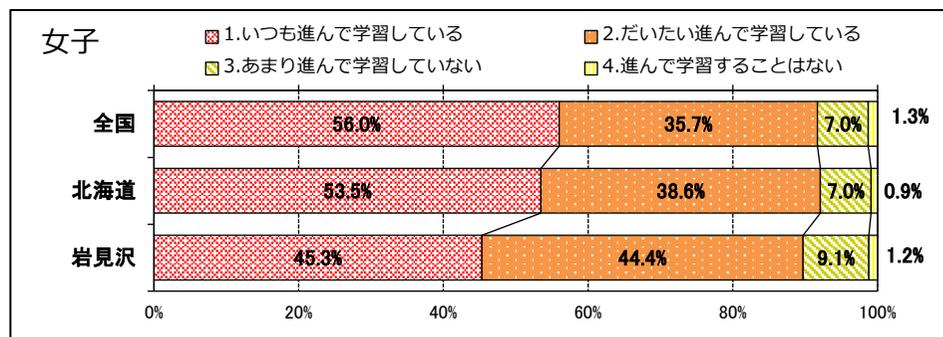
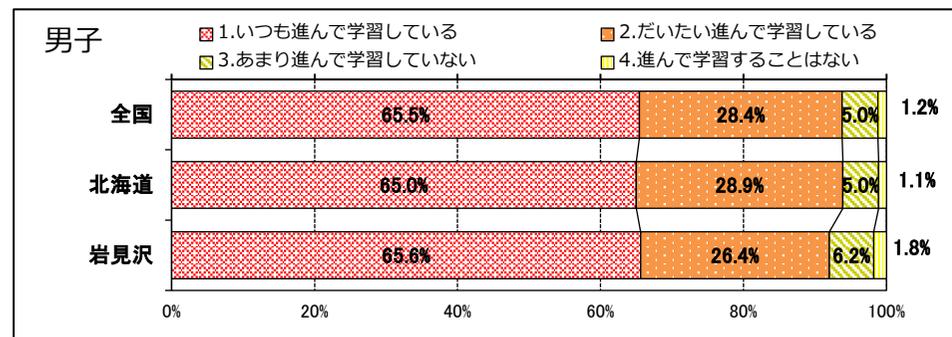
質問8 平日（月～金曜日）学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



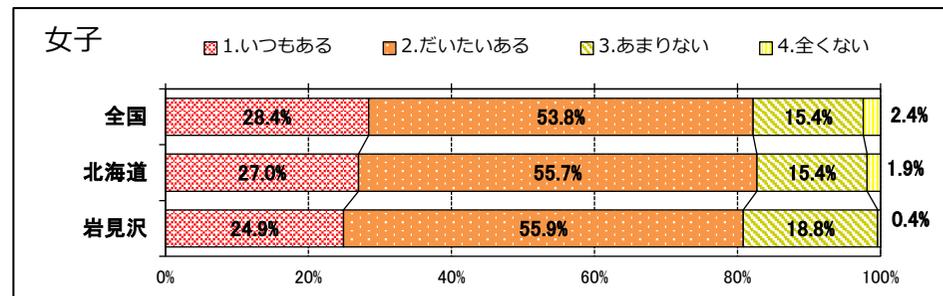
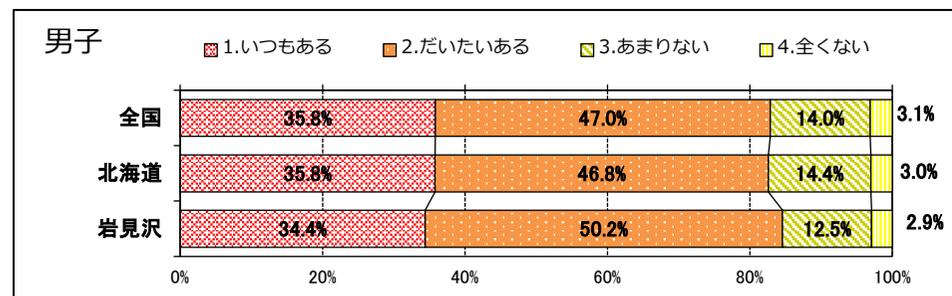
質問9 体育の授業は楽しいですか。



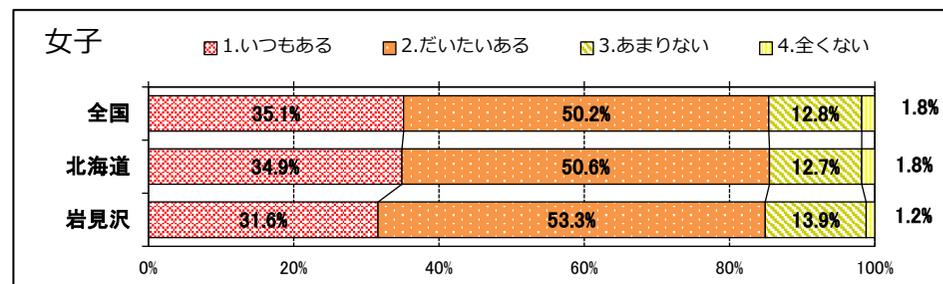
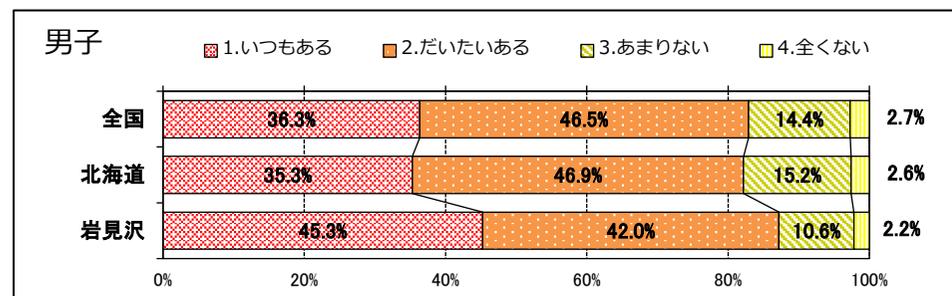
質問10 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



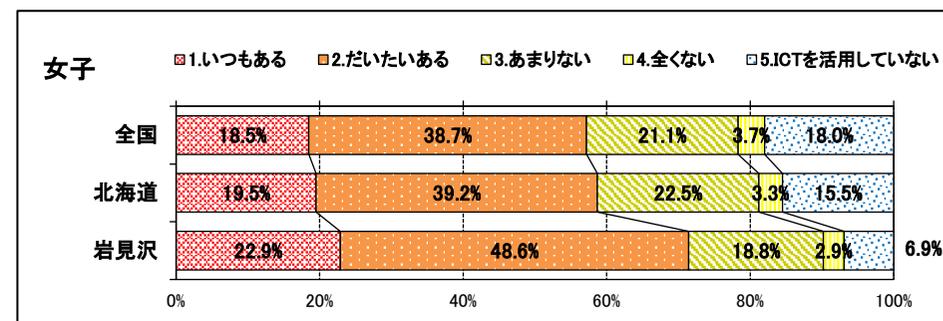
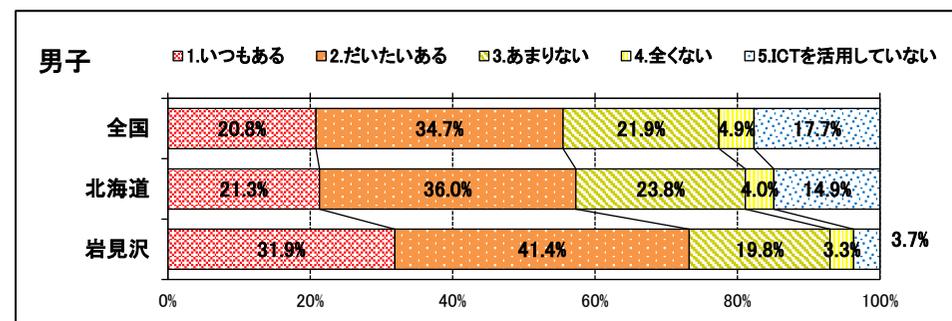
質問11 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問12 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



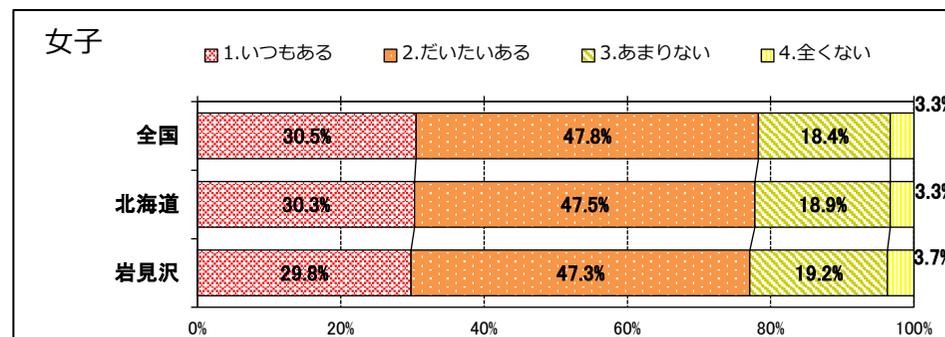
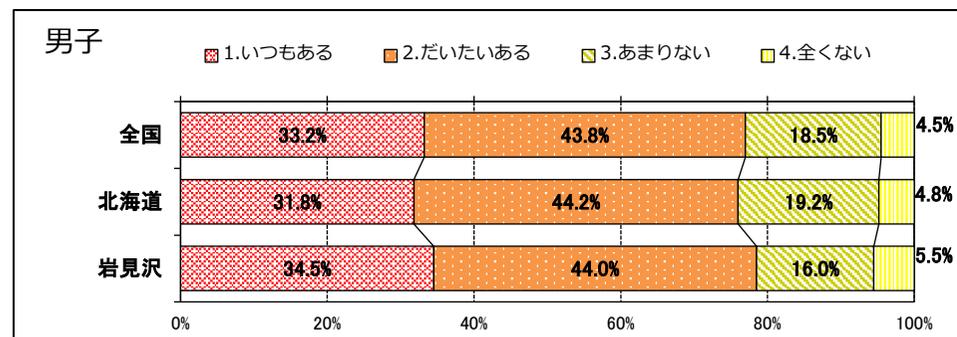
質問13 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



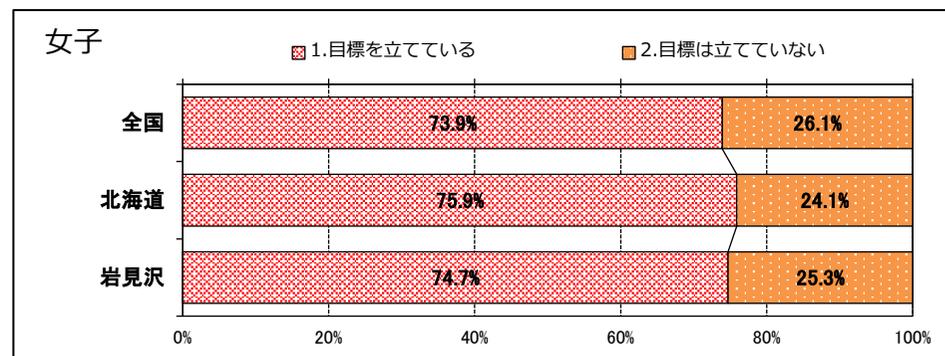
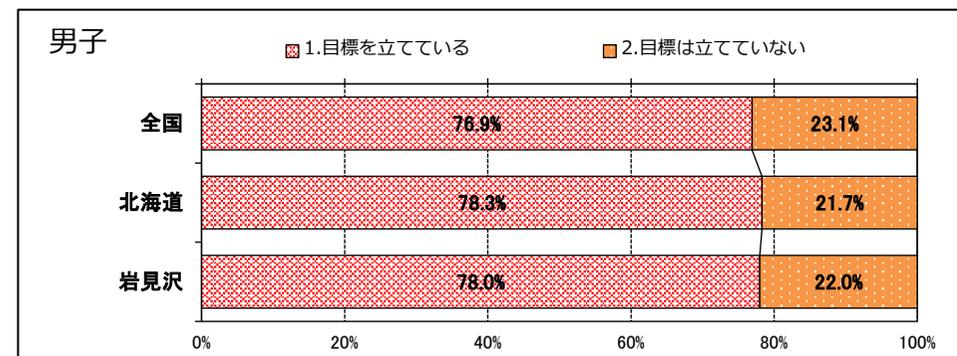
〈考察〉

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」ることが「いつもある」・「だいたいある」と回答した岩見沢市の児童の割合は、全国と比べ、男子で17.8ポイント、女子で14.3ポイント上回っており、タブレットなどのICT機器が有効に活用されていると言える。

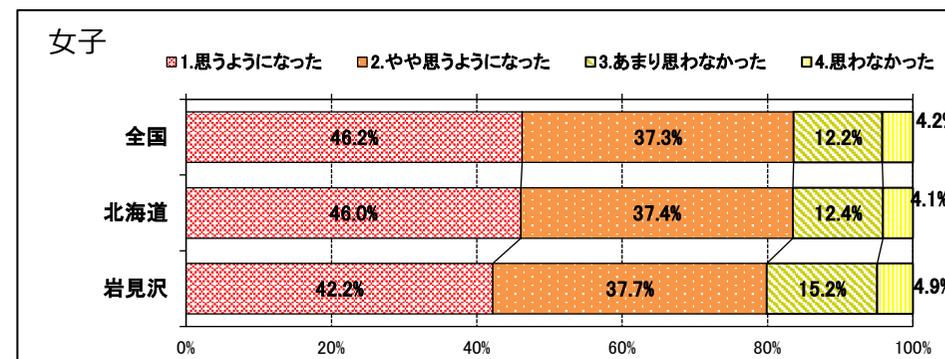
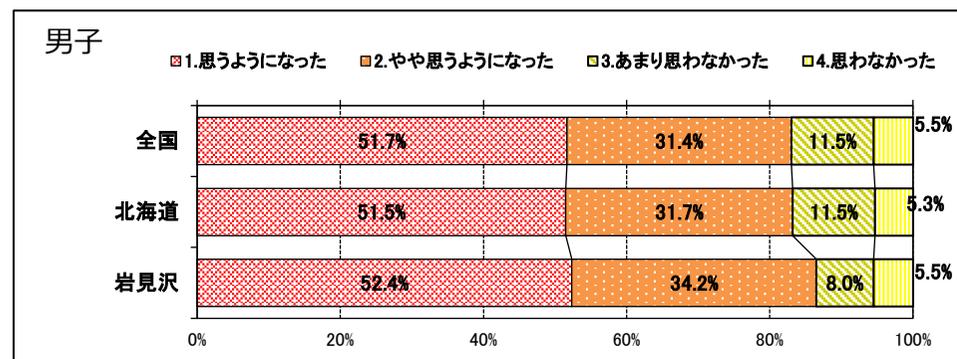
質問14 体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問15 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



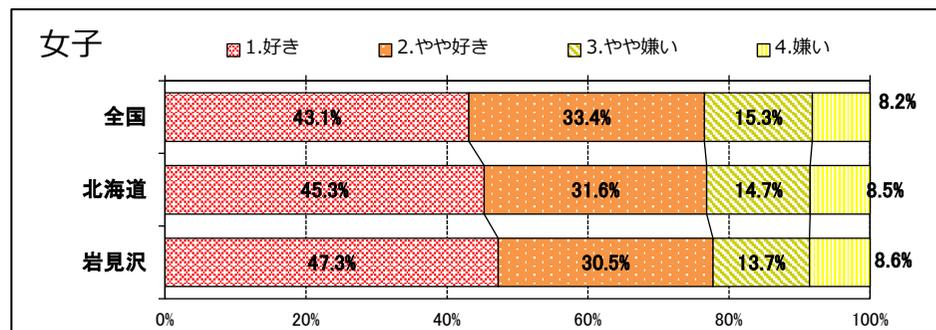
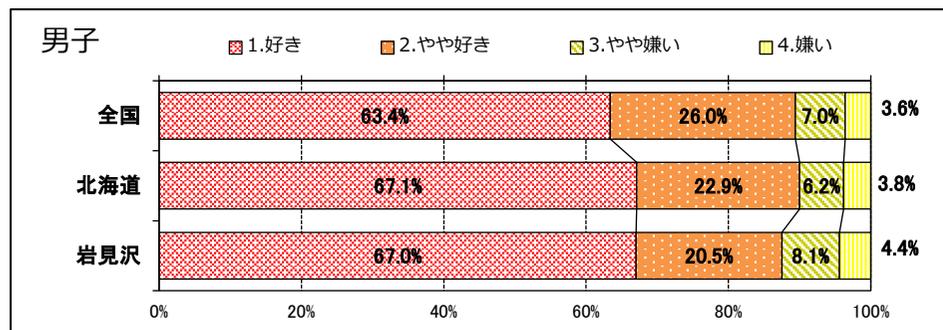
質問17 保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



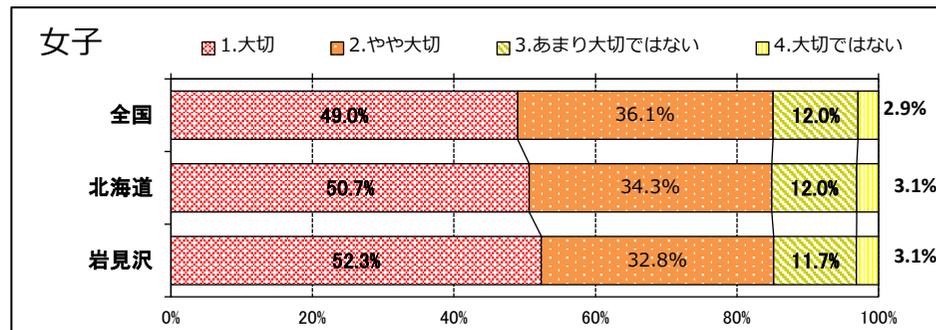
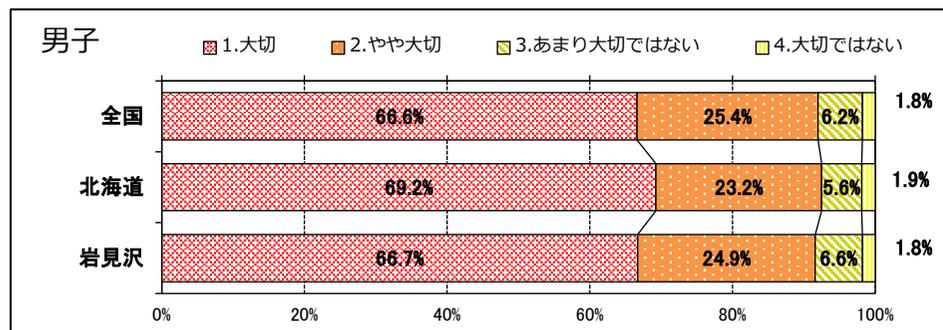
【中学校】

(*グラフは数値の3%前後のものについては表示しない。基本的には男子は左側、女子は右側に表示する。)

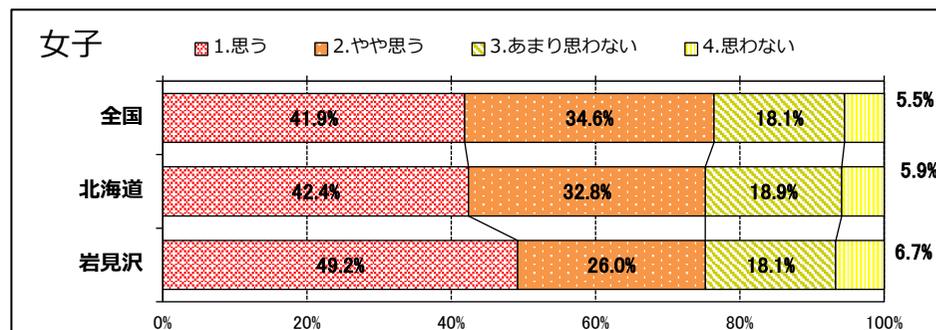
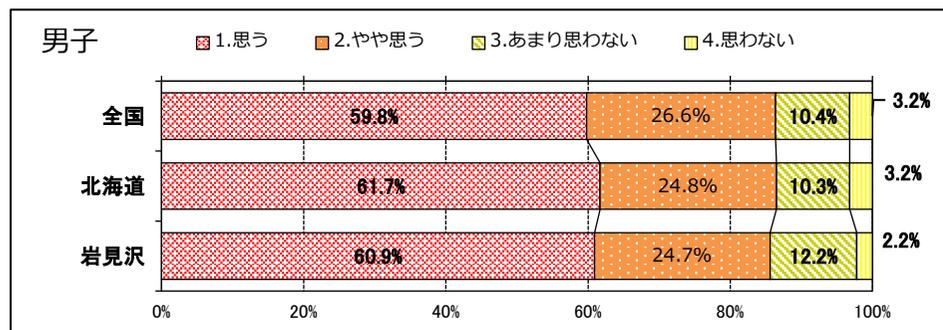
質問1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



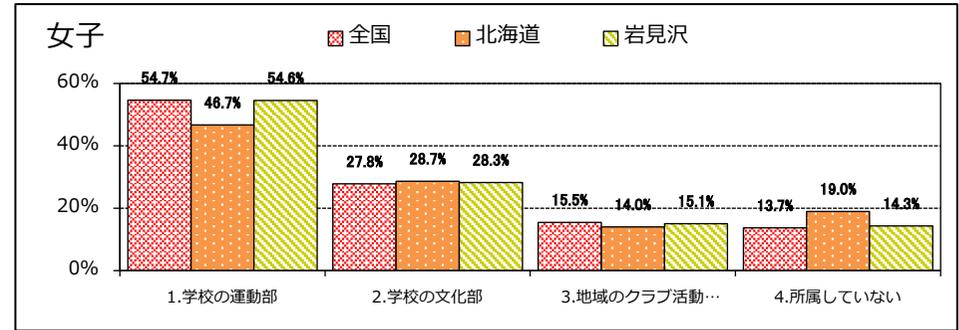
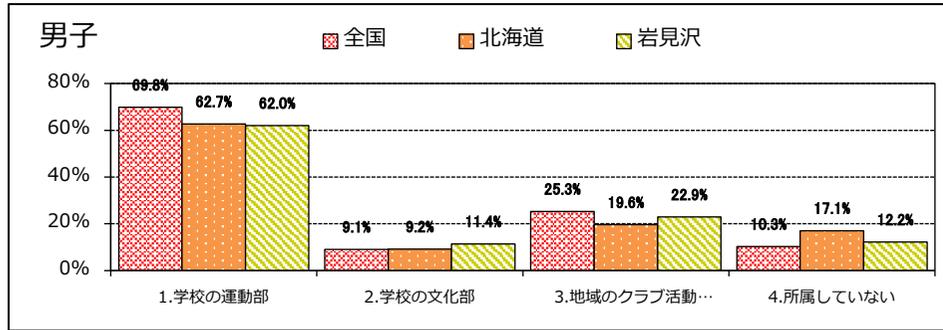
質問2 あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。



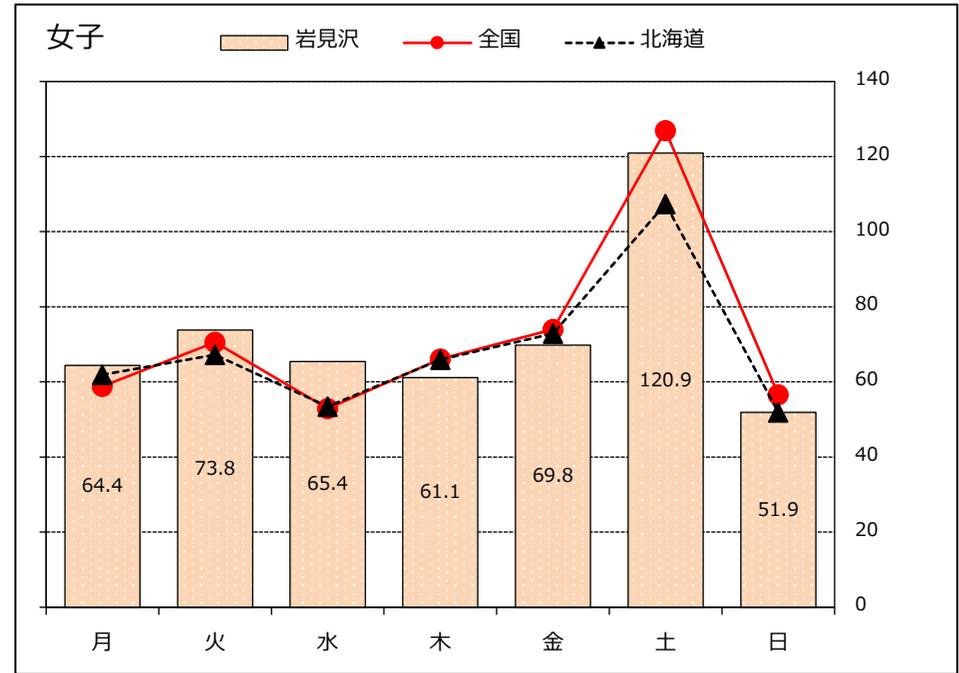
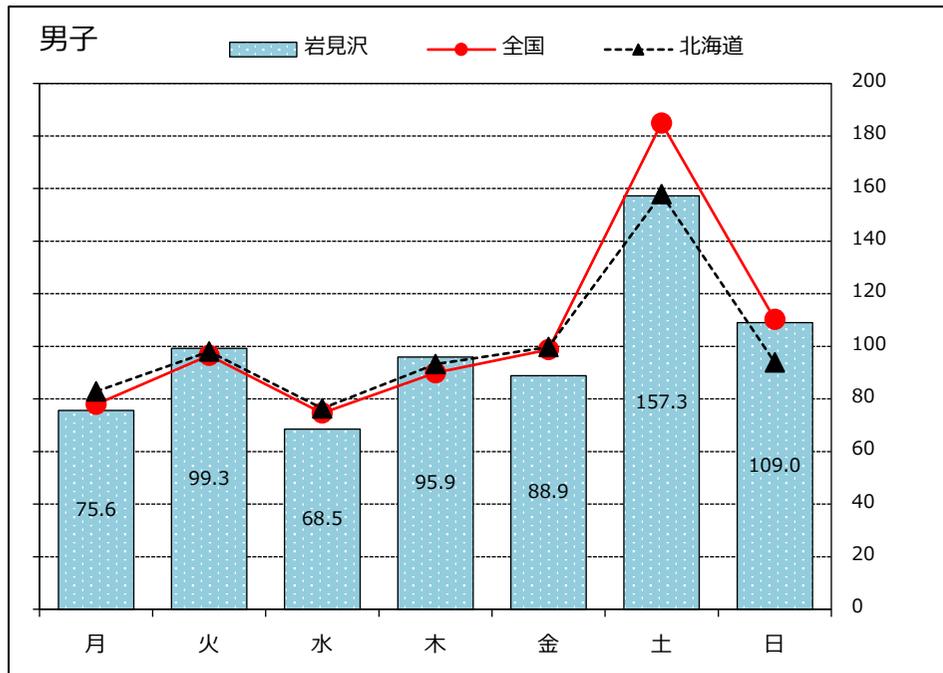
質問3 中学校を卒業した後、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



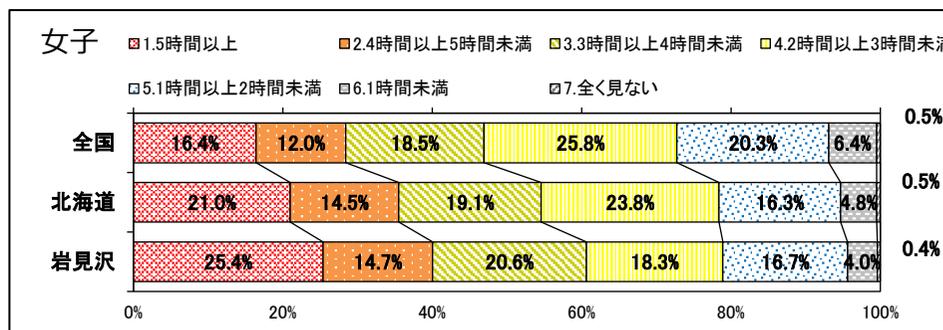
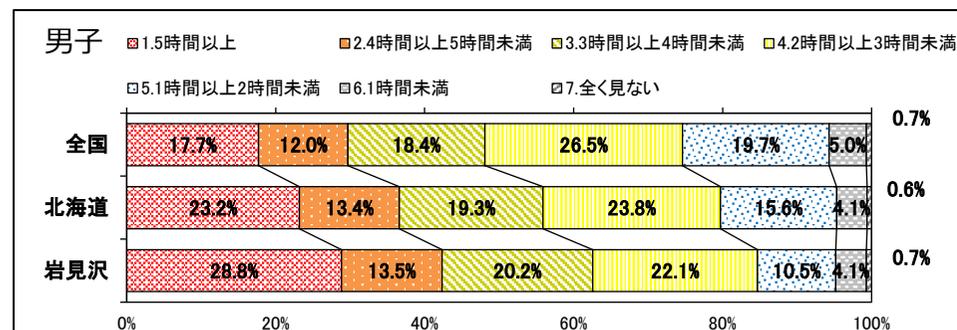
質問4 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。



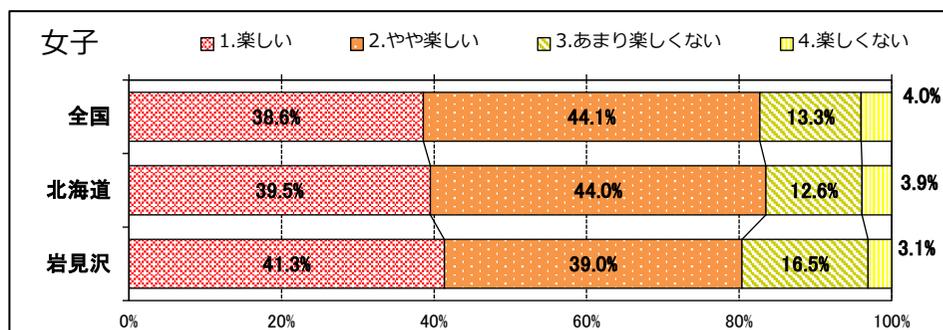
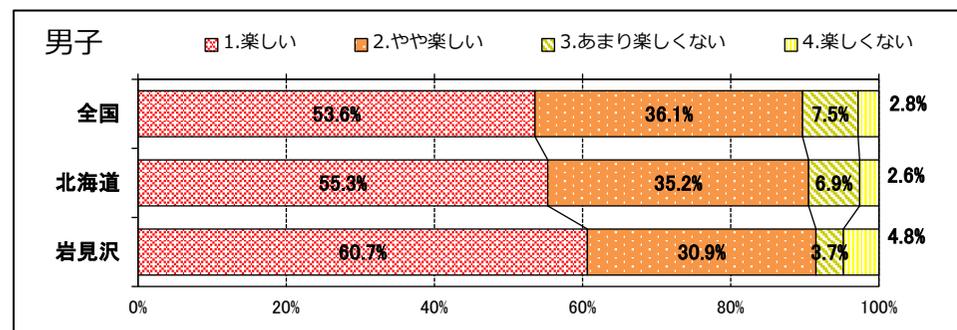
質問5 学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分ぐらい活動していますか。各曜日ごとに活動時間を記入してください。（学校の体育の授業を除く）※活動時間の合計



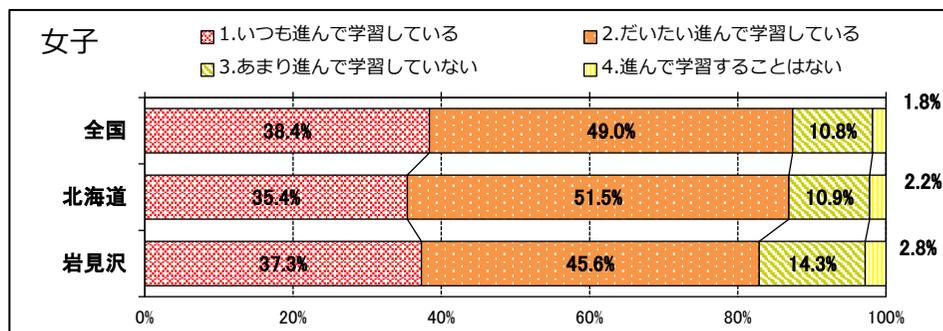
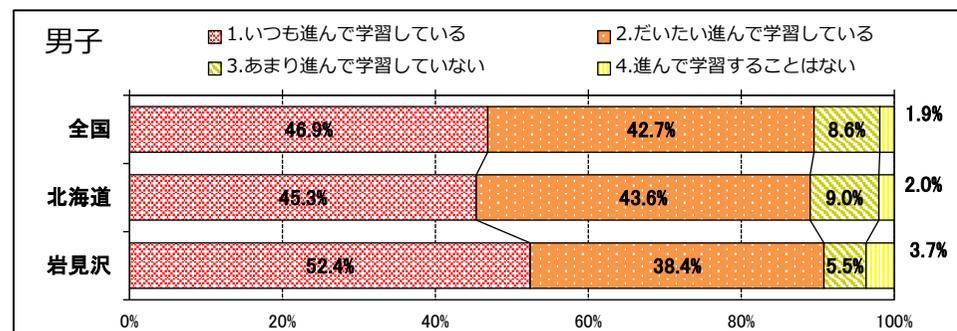
質問8 平日（月～金曜日）学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



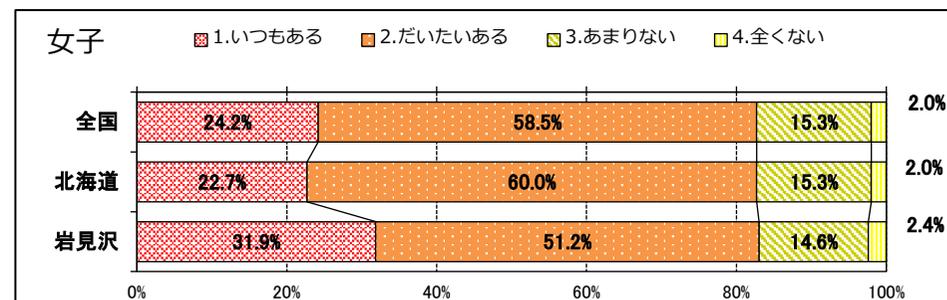
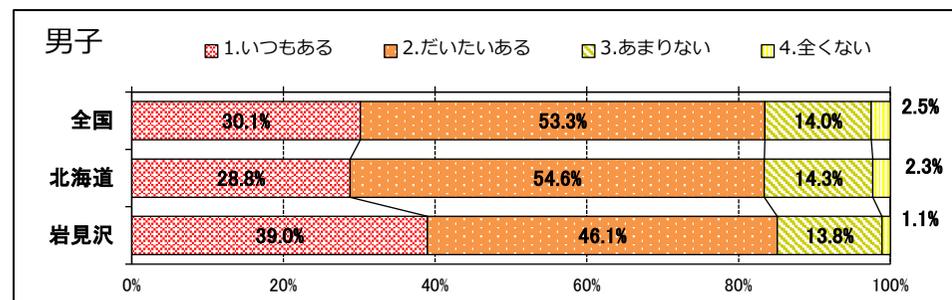
質問9 保健体育の授業は楽しいですか。



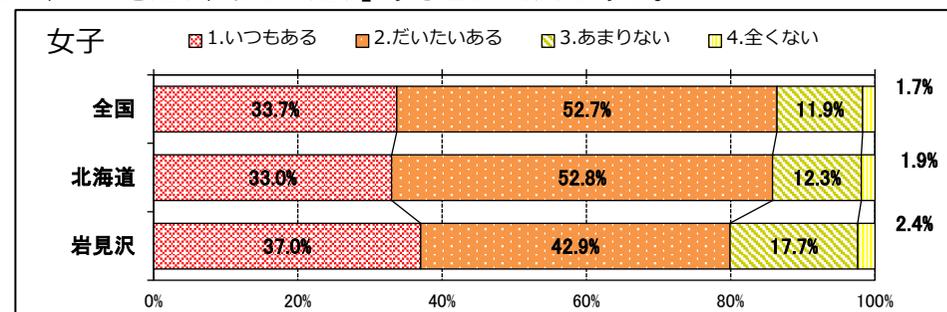
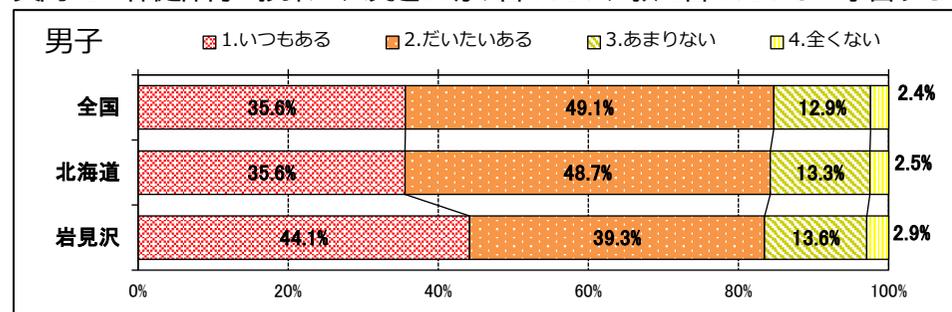
質問10 保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



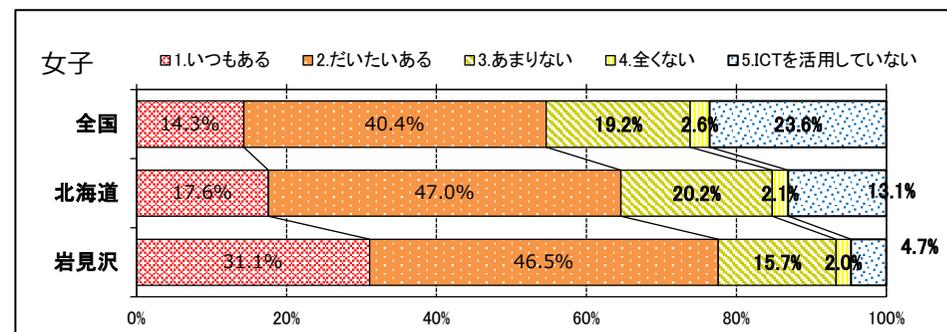
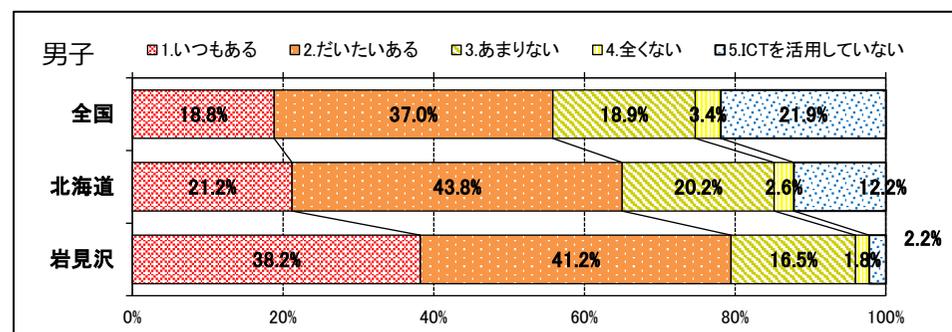
質問11 保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問12 保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



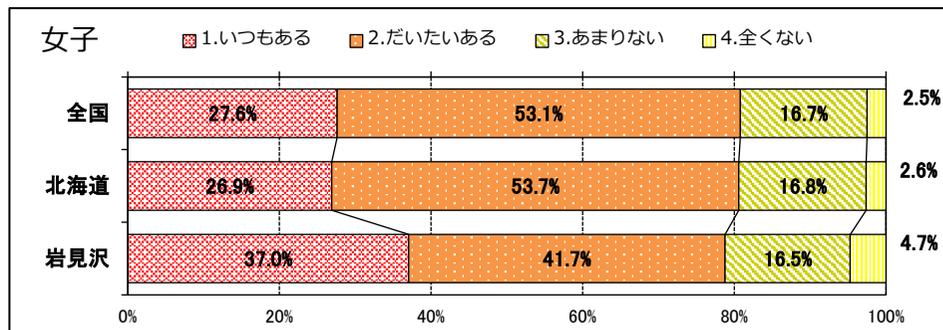
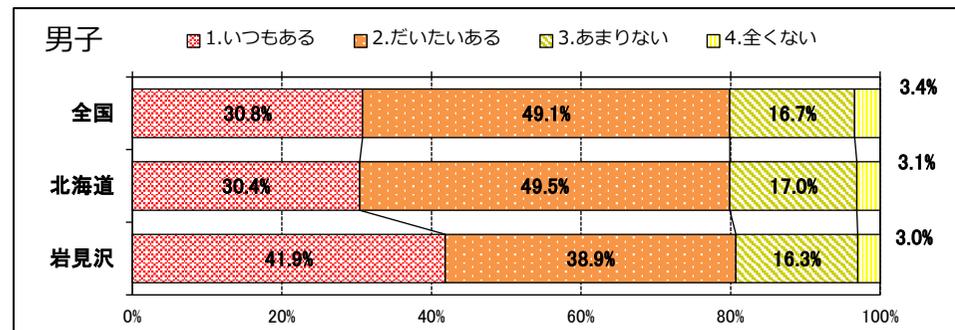
質問13 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



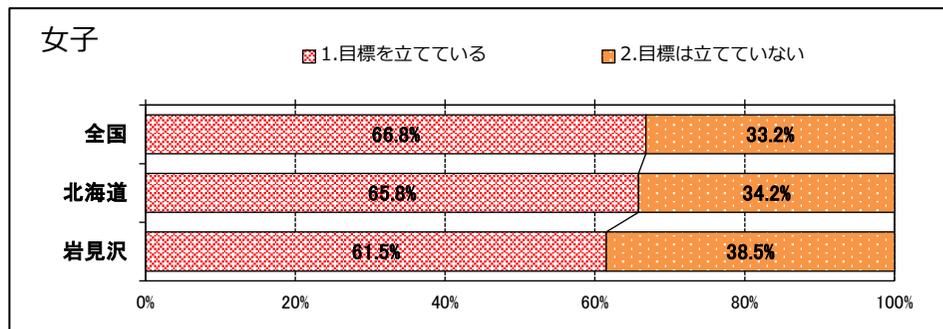
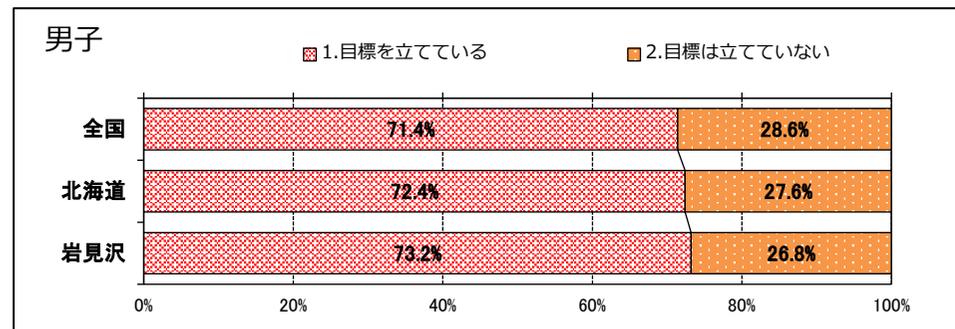
〈考察〉

保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」・「だいたいある」と回答した岩見沢市の生徒の割合は、全国と比べ、男子で23.6ポイント、女子で22.9ポイント上回っており、タブレットなどのICT機器が有効に活用されていると言える。

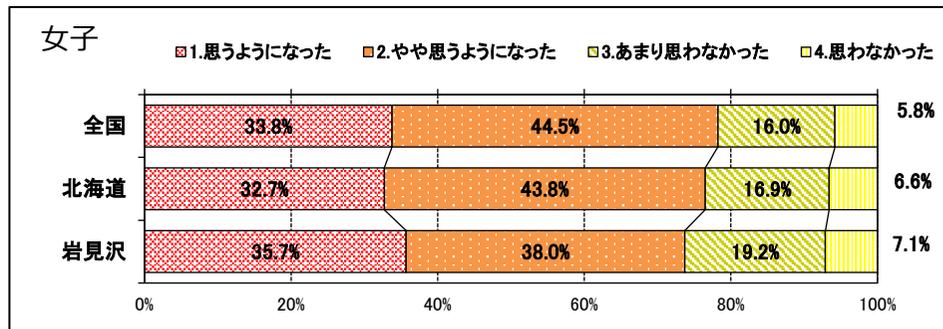
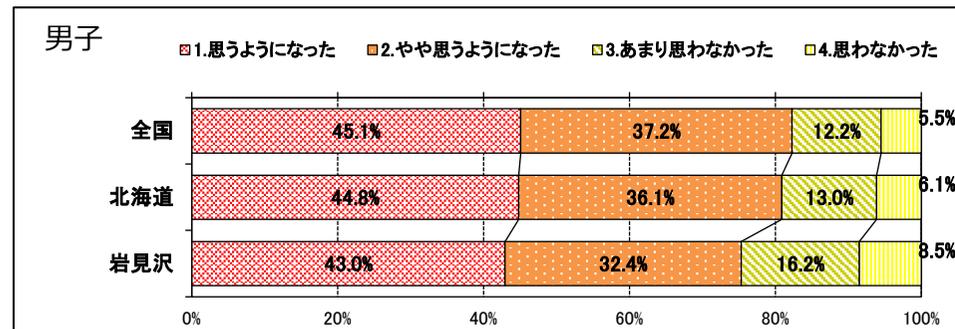
質問14 保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問15 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

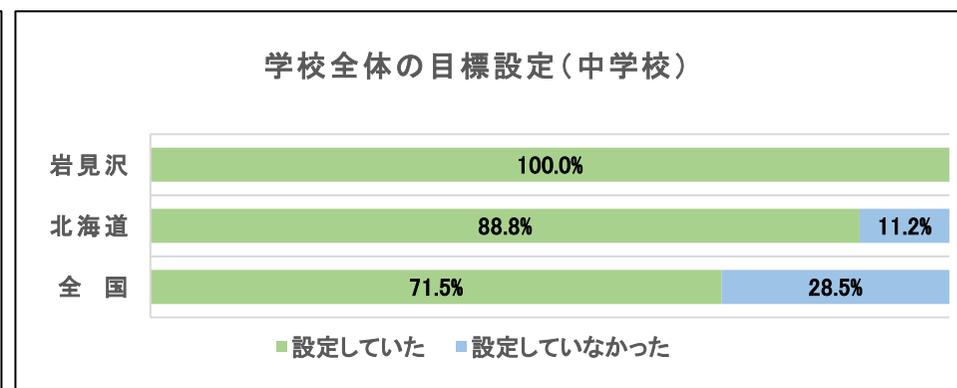
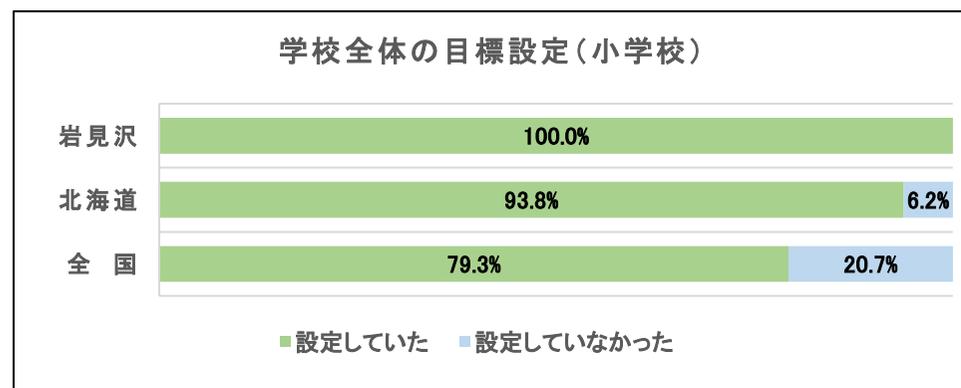


質問17 保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



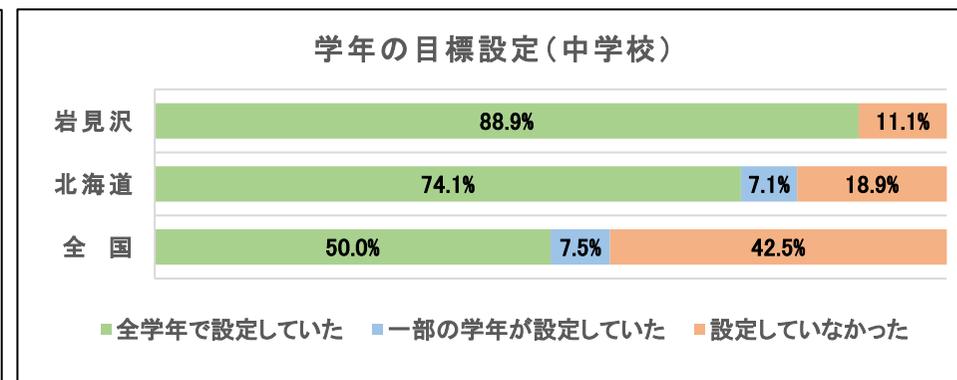
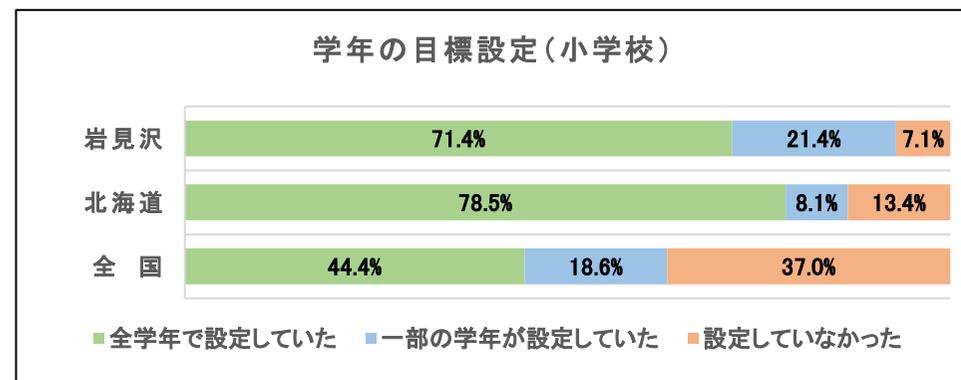
6 学校質問紙の調査結果

質問1 前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定していましたか。



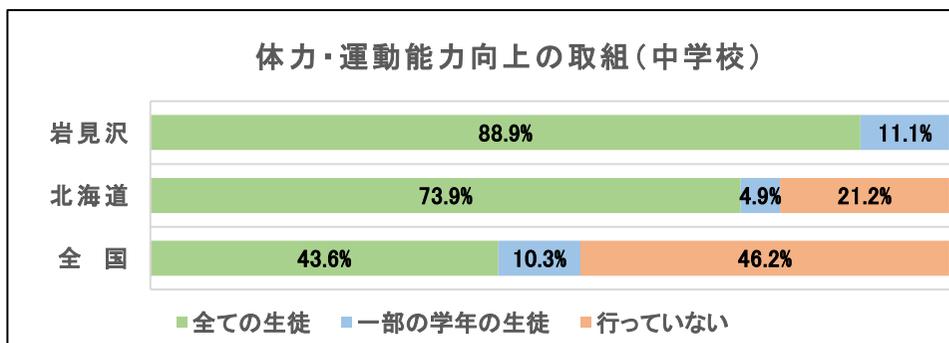
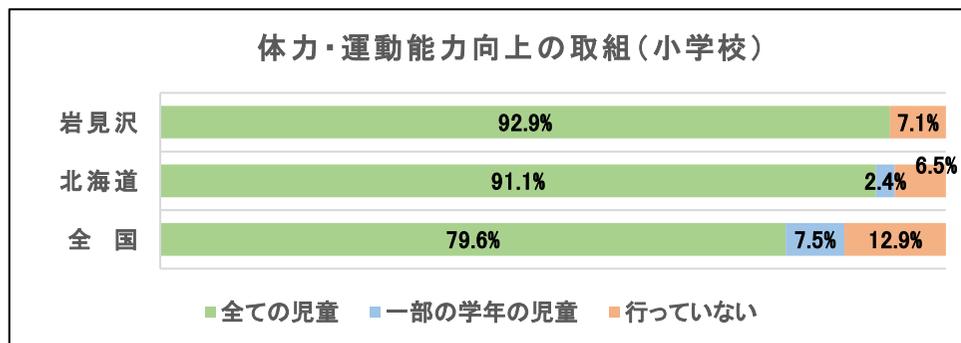
（考察）前年度、岩見沢市の学校で、学校全体の体力・運動能力の目標を設定していた学校の割合は、小・中学校ともに100%である。

質問2 前年度、学年としての体力・運動能力向上の目標を設定していましたか。



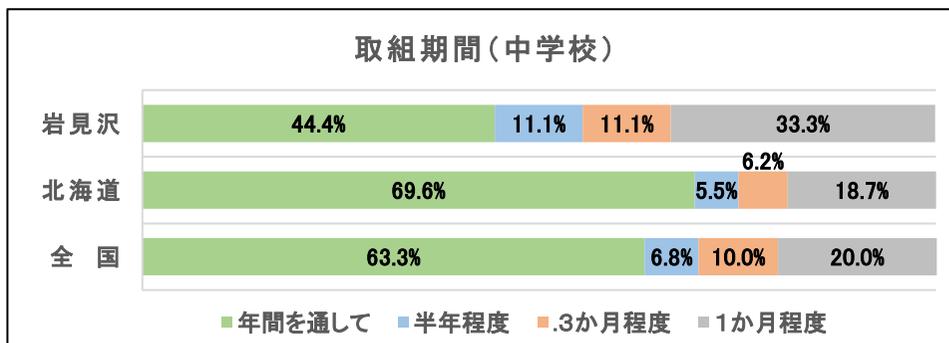
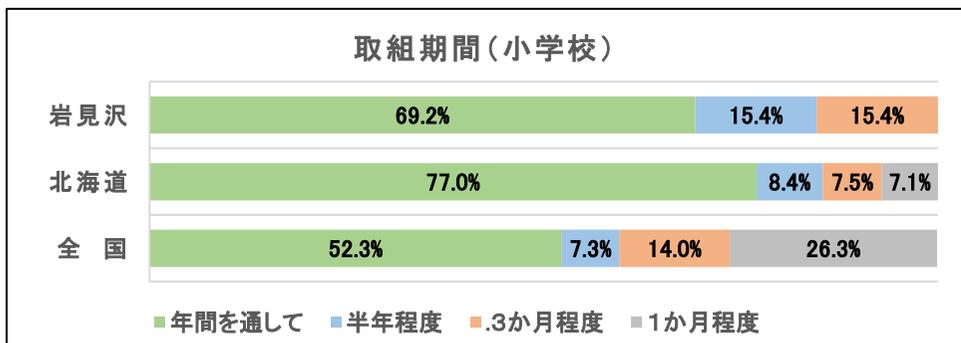
（考察）前年度、岩見沢市の学校で、学年としての体力・運動能力向上の目標を設定していた学校の割合は、全国平均と比べ、小学校は27.0ポイント、中学校は38.9ポイント上回っている。

質問3 前年度、体育（保健体育）授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。



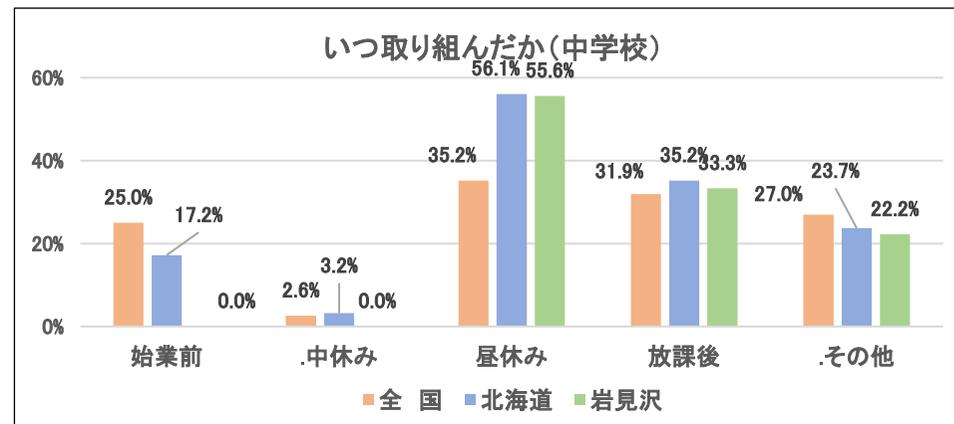
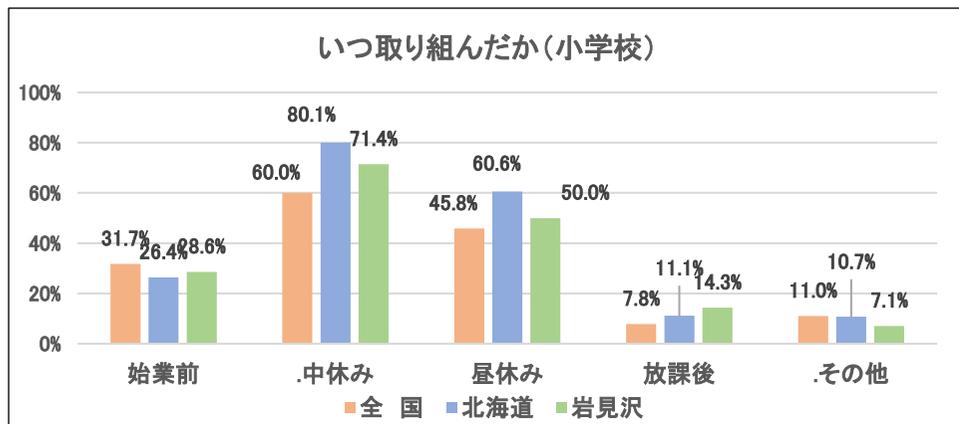
（考察）前年度、岩見沢市の学校で、体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童生徒に行っていた学校の割合は、全国平均と比べ、小学校は13.3ポイント、中学校は45.3ポイント上回っている。

質問3-2（質問3で「全ての児童生徒に対して行った」または「一部の児童生徒に対して行った」と回答した学校）その取組はどのくらいの期間行いましたか。

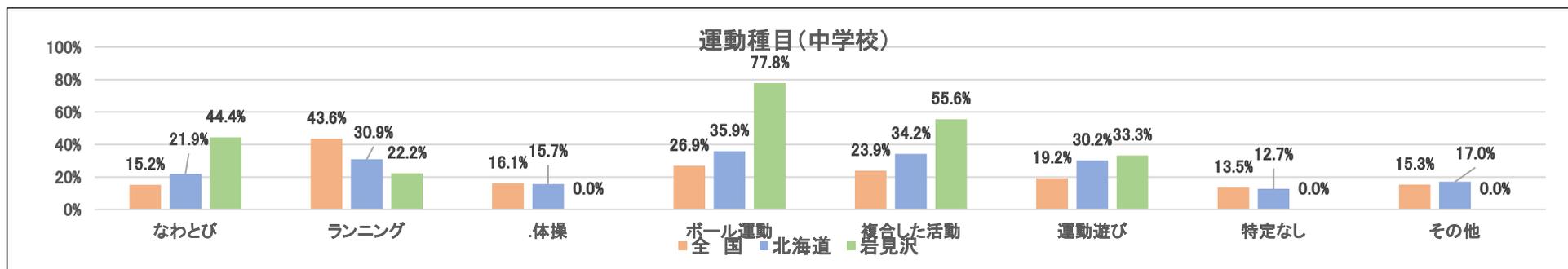
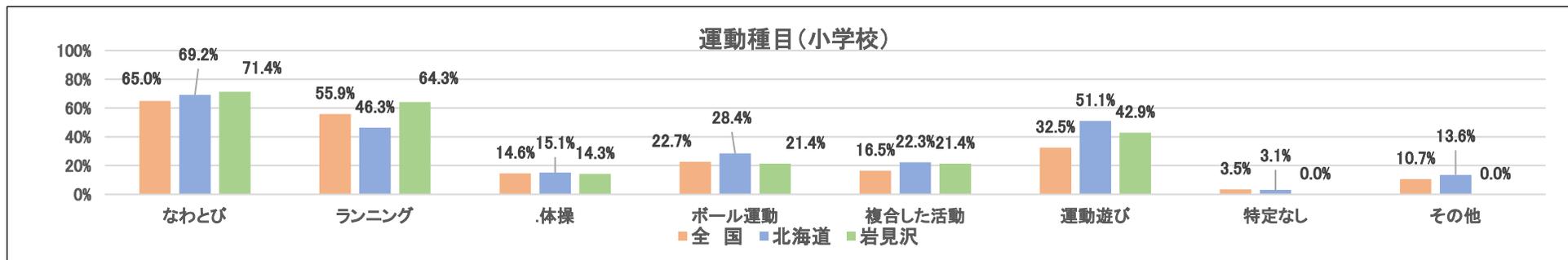


（考察）前年度、岩見沢市の学校で、体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を年間を通して行っていた学校の割合は、全国平均と比べ、小学校は16.9ポイント上回っているが、中学校は18.9ポイント下回っている。

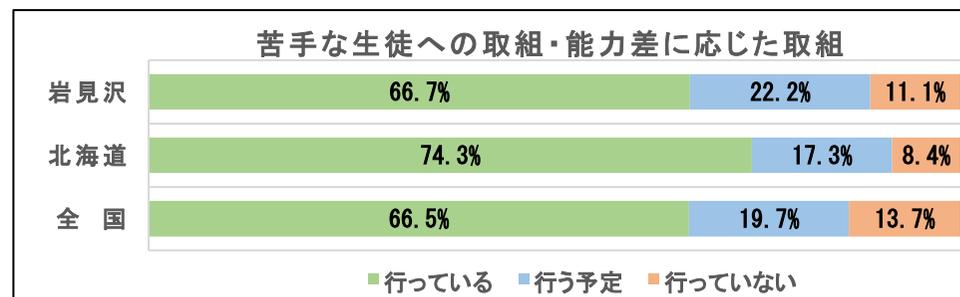
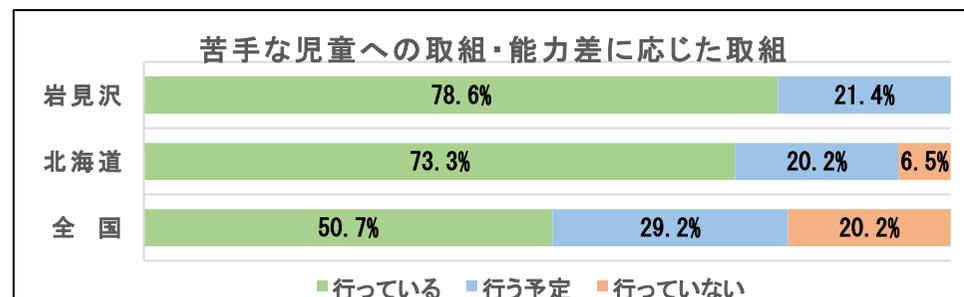
質問3-3（質問3で「全ての児童生徒に対して行った」または「一部の児童生徒に対して行った」と回答した学校）その取組をいつ行いましたか。（複数回答可）



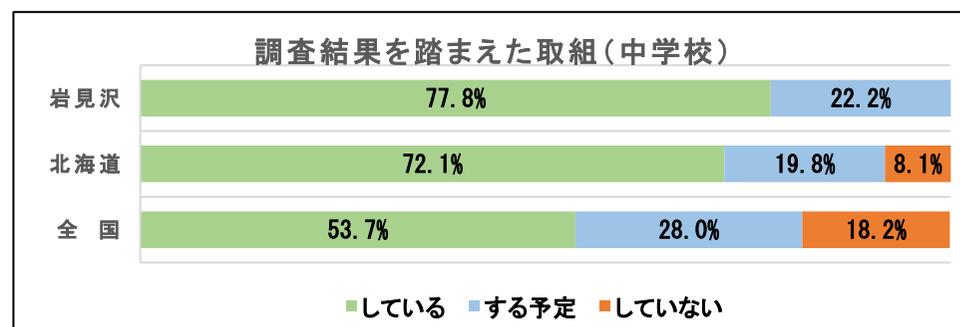
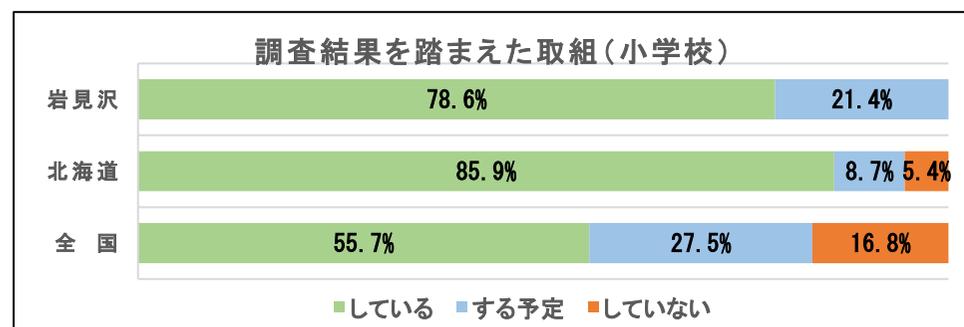
質問3-4（質問3で「全ての児童生徒に対して行った」または「一部の児童生徒に対して行った」と回答した学校）どのような活動を行いましたか。（複数回答可）



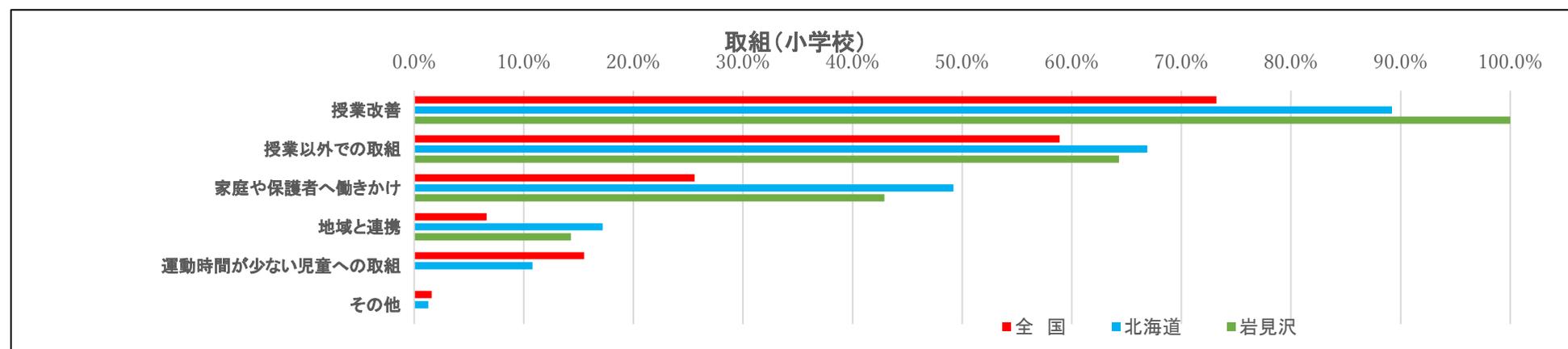
質問5 運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っていますか。

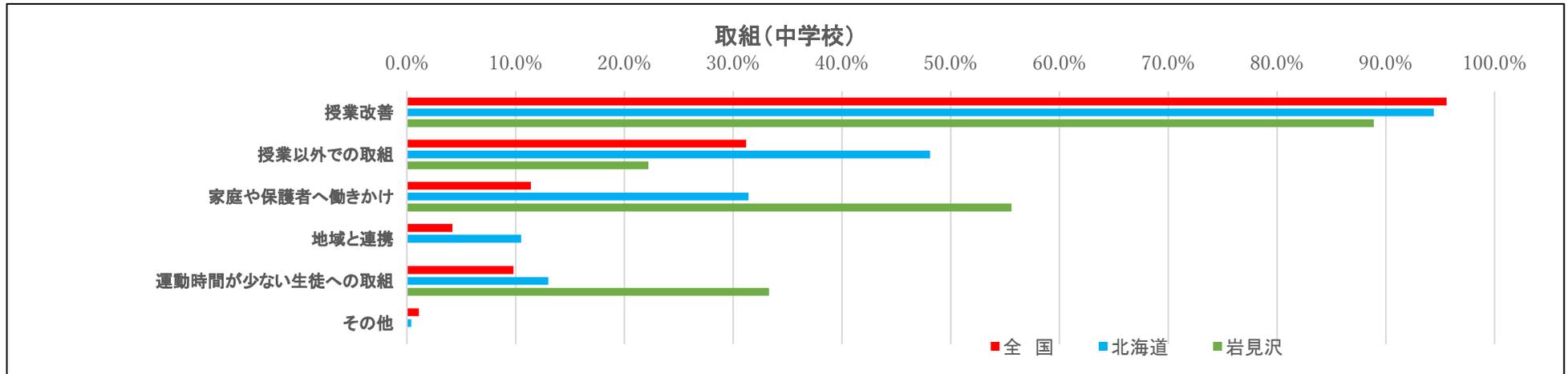


質問6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた取組を行っていますか。

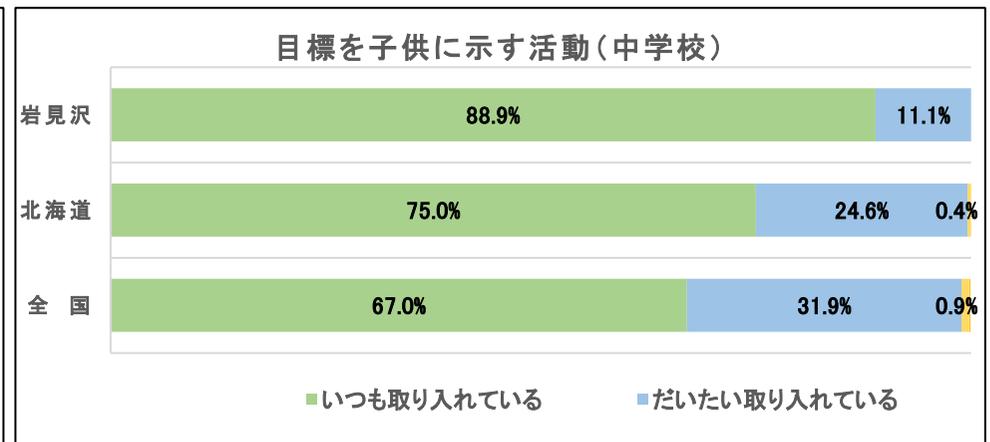
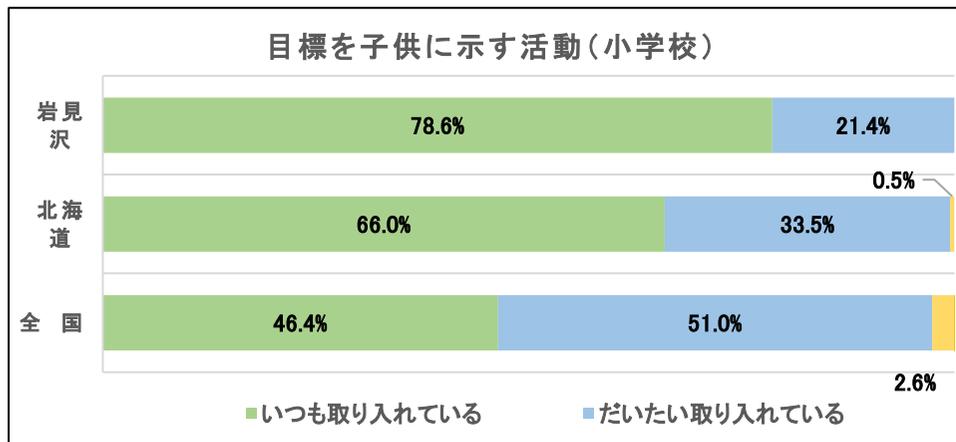


質問6-2 質問6で「行っている」と回答した学校) どのような取組を行いましたか。(複数回答可)



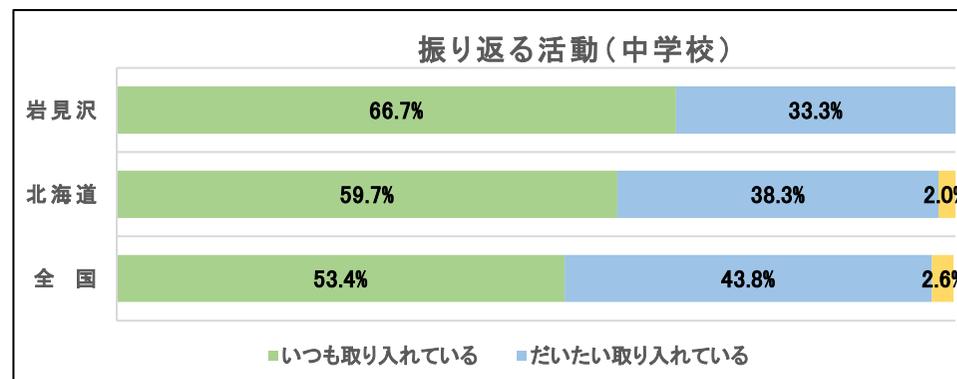
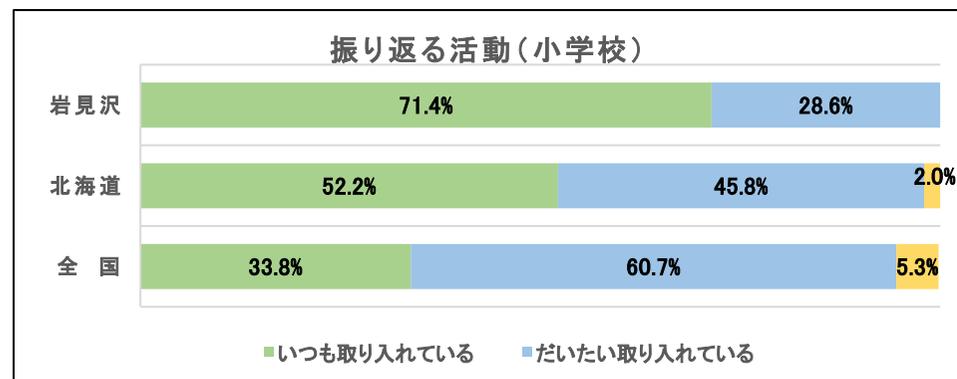


質問7 体育(保健体育)の授業で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。

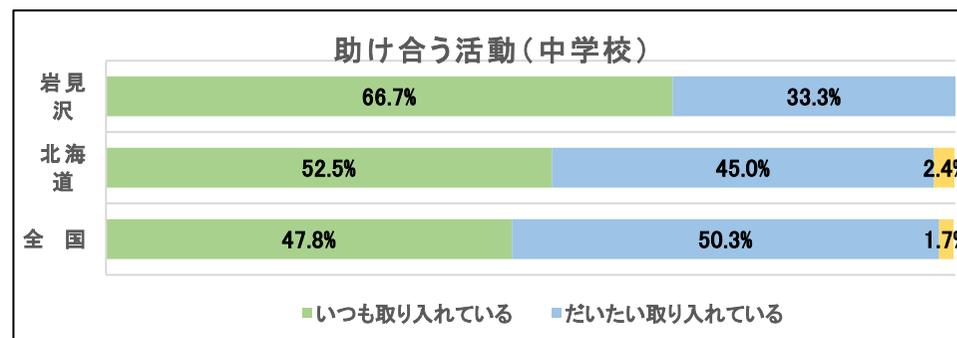
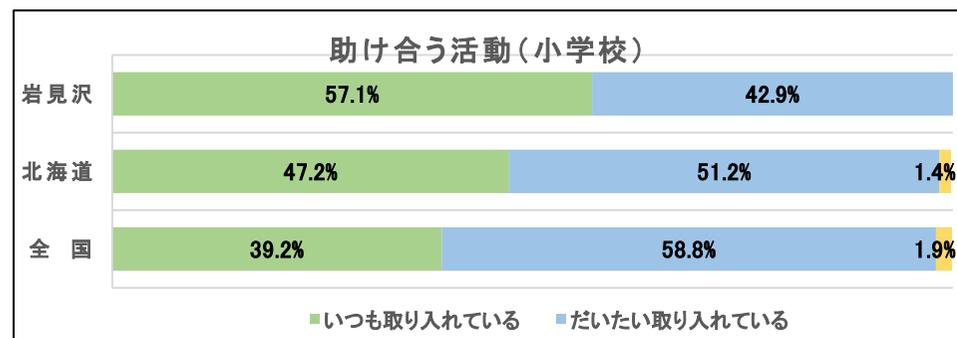


(考察) 岩見沢市の学校で、体育(保健体育)の授業で、目標を児童生徒に示す活動を取り入れている学校の割合は、全国平均と比べ、小学校は32.2ポイント、中学校は21.9ポイント上回っている。

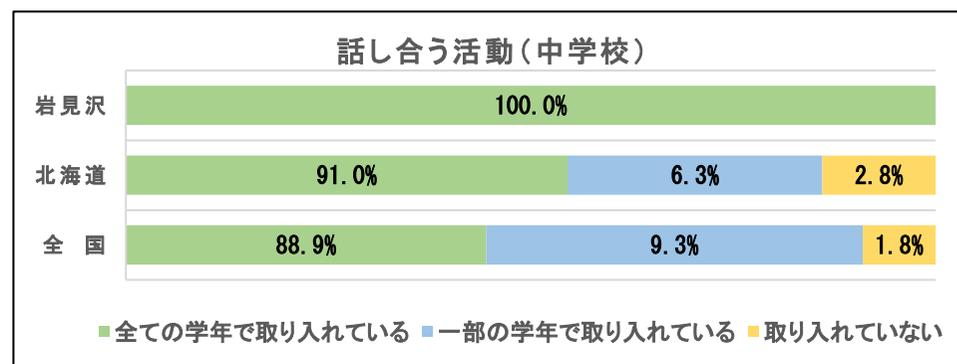
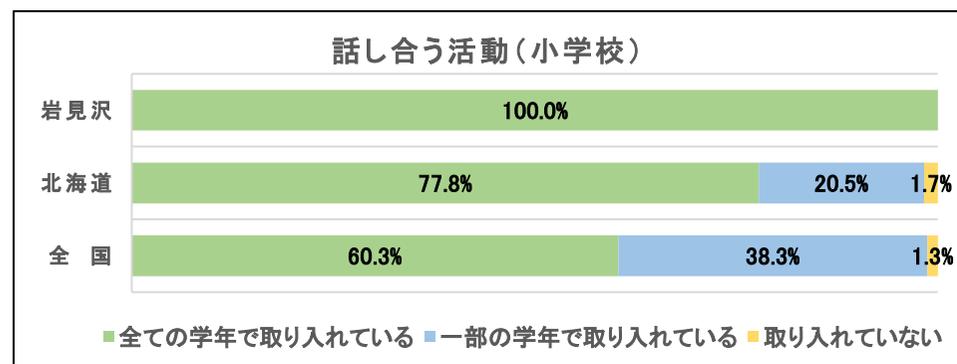
質問9 体育（保健体育）の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。



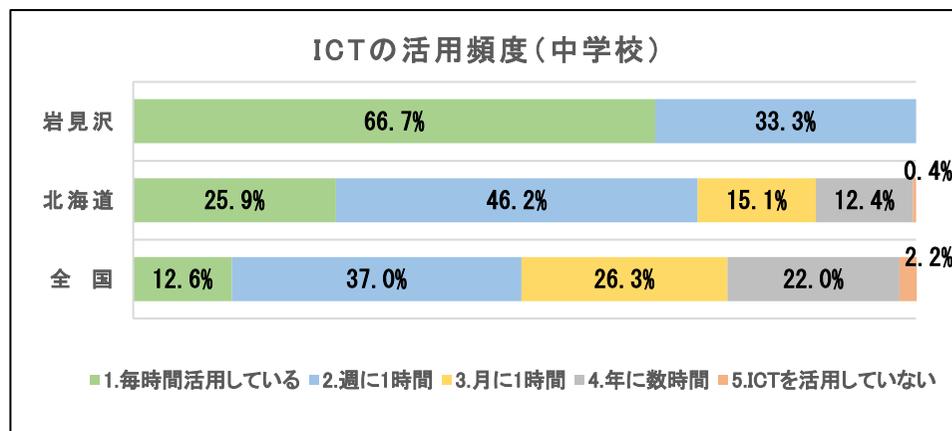
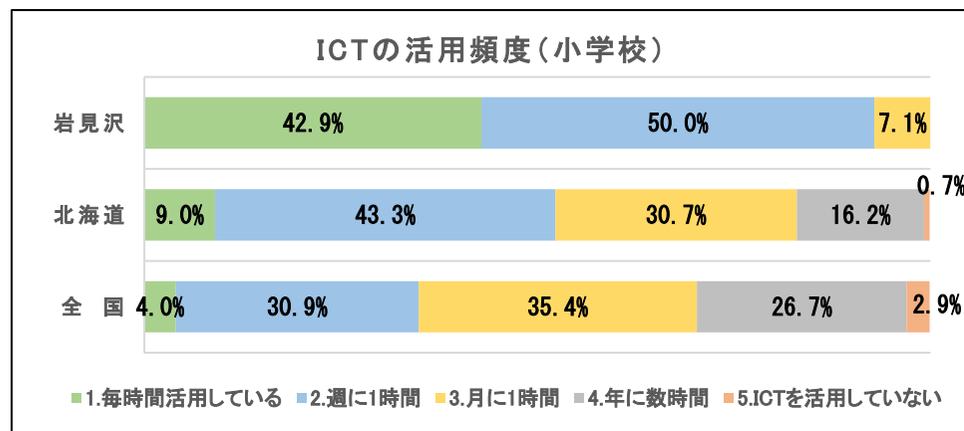
質問10 体育（保健体育）の授業では、児童生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。



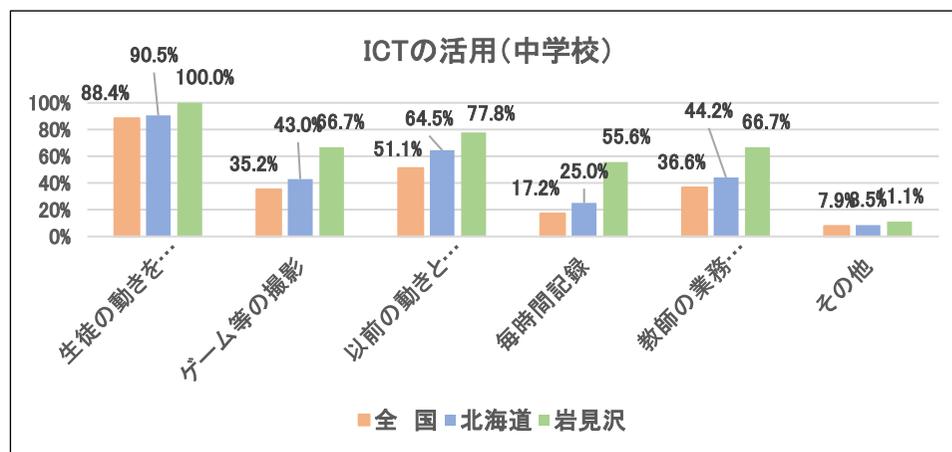
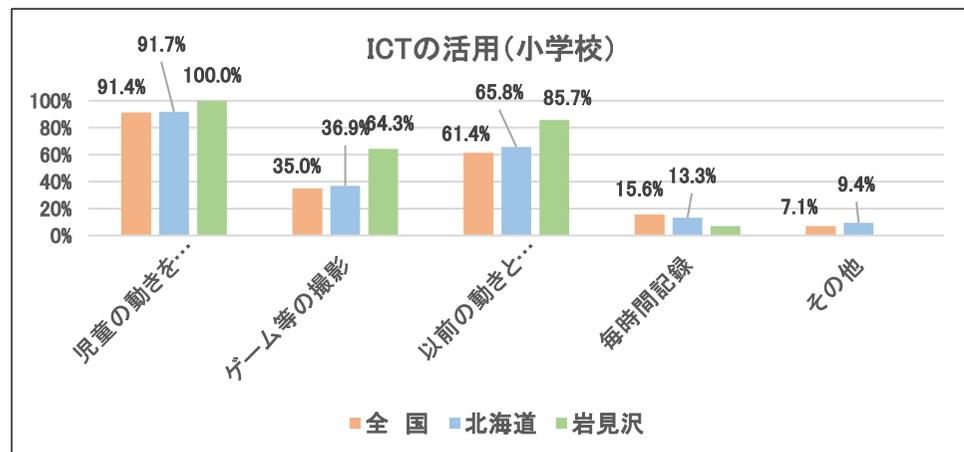
質問11 体育（保健体育）の授業では、児童生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。



質問12 体育（保健体育）の授業中におけるICTの活用についてどのくらいの頻度で活用していますか。



質問12-2 体育（保健体育）の授業中でICTを活用している場合、どのように活用していますか。（複数回答可）



（考察）岩見沢市の学校で、ICTを毎時間活用している学校の割合は、全国平均と比べ、小学校は38.9ポイント、中学校は54.1ポイント上回っている。活用方法としては、「児童生徒の動きを撮影」したり、「以前の動きと比較」したりすることが多い。

Ⅲ 調査結果から

1 体力・運動能力等調査の全体的な傾向（岩見沢市）

〈小学校〉

〈中学校〉

<p>(1) 体力合計点及びT得点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国平均と同程度 ・女子は全国平均よりやや低い 	<p>(1) 体力合計点及びT得点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国平均より低い ・女子は全国平均より低い
<p>(2) 全国平均を上回った種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は8種目中5種目 (握力、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ) ・女子は8種目中4種目 (握力、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げ) 	<p>(2) 全国平均を上回った種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は9種目中2種目 (持久走、ハンドボール投げ) ・女子は9種目中2種目 (持久走、ハンドボール投げ)
<p>(3) 全国平均をかなり下回った種目（T得点で3ポイント程度低い）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は50m走 ・女子は長座体前屈、50m走 	<p>(3) 全国平均をかなり下回った種目（T得点で3ポイント程度低い）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は上体起こし、反復横とび ・女子は握力、上体起こし、20mシャトルラン
<p>(4) 1週間の運動時間（体育の授業を除く）420分以上の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国平均を下回った (令和4年度の岩見沢市と比べ、3.6ポイント下回った) ・女子は全国平均を上回った (令和4年度の岩見沢市と比べ、11.5ポイント下回った) 	<p>(4) 1週間の運動時間（体育の授業を除く）420分以上の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国平均を下回った (令和4年度の岩見沢市と比べ、2.0ポイント下回った) ・女子は全国平均をやや下回った (令和4年度の岩見沢市と比べ、0.5ポイント上回った)
<p>(5) 体格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は身長、体重ともに全国平均をやや上回った ・女子は身長、体重ともに全国平均をやや上回った 	<p>(5) 体格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は身長、体重ともに全国平均をやや上回った ・女子は身長はやや上回ったが、体重はやや下回った
<p>(6) 肥満傾向児の出現率</p> <p>男女ともに軽度肥満から高度肥満までの出現率は全国より高い</p>	<p>(6) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率</p> <p>男子は軽度肥満から高度肥満までの出現率は全国より高い 女子は中等度肥満とやせの出現率は全国より高い</p>

2 児童生徒質問紙の特徴的な事項（岩見沢市）

〈小学校〉

- (1) 「運動やスポーツをすることは好き」と回答した児童の割合は、男子は全国平均より高く、女子は全国平均より低い。
- (2) 「運動やスポーツは大切だ」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均より高い。
- (3) 「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童の割合は、男子は全国平均より高く、女子は全国平均より低い。
- (4) 「地域のスポーツクラブへの加入状況」は、男子は全国平均より低く、女子は全国平均より高い。また、加入状況の割合は全国的にも男女差があり、女子の未加入者は男子よりかなり高い。
- (5) 「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、男女とも全国平均より低い。
- (6) 「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均より高く、女子は全国平均より低い。
- (7) 「体育の授業で、タブレットなどの ICT を使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均よりかなり高い。
- (8) 「保健を学習して、もっと運動しようと思った」と回答した児童の割合は、男子は全国平均よりやや高く、女子は全国平均より低い。
- (9) 「平日学習以外で、1日に5時間以上、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均よりかなり高い。

〈中学校〉

- (1) 「運動やスポーツをすることは好き」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均より高い。
- (2) 「運動やスポーツは大切だ」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均と同程度で、女子は全国平均より高い。
- (3) 「中学校卒業後、自主的に運動する時間を持ちたい」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均より高い。
- (4) 「学校の運動部への所属状況」は、男子は全国平均より低く、女子は全国平均と同程度である。また、「地域のスポーツクラブへの所属状況」は、男子は全国平均より低く、女子は全国平均と同程度である。
- (5) 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均より高い。
- (6) 「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均より高い。
- (7) 「保健体育の授業で、タブレットなどの ICT を使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均よりかなり高い。
- (8) 「保健を学習して、もっと運動しようと思った」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均より低く、女子は全国平均より高い。
- (9) 「平日学習以外で、1日に5時間以上、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均よりかなり高い。

3 調査結果を踏まえた各学校が取り組むべき岩見沢市の5つの方策

(1) 9年間を通して自己の記録に挑戦し、成長を実感できる新体力テストの実施（実態の把握）

体力カード等を有効に活用し、小・中学校9年間を通して、自己の記録に挑戦し、自己の成長が実感できるような新体力テストを実施し、児童生徒が意欲を持って主体的に運動に親しむ態度を養う必要がある。

- ① 新体力テストを全学年で実施し、実施に当たっては事前に児童生徒にその意義を伝える。
- ② 体力カード等を活用し、児童生徒一人一人に自己の体力の変化を実感させるとともに、今年度の自己の目標を持たせる。
- ③ 結果を児童生徒に伝えるとともに、経年変化に着目させたり、全国平均と比べたりして、自己の体力の状況を把握させる。
- ④ 全国と比べて低い種目については、春と秋など年に複数回その種目の記録にチャレンジできるようにする。その際、指導計画にも配列したり、年間を通して補強運動に取り入れたりするなど、その運動領域（種目）を計画的に位置付けるなどの工夫が考えられる。

(2) 運動の楽しさや喜びが味わえる体育（保健体育）の授業の実現（授業の改善）

生涯にわたって、豊かで健康的な生活を送るためには、心身の健康がもっとも重要である。特に、急激な成長期にある小・中学校時代においては、体育の授業で体力を伸ばしたり、好き（得意）な運動を見つけたりできるような取組を進める必要がある。

- ① 仲間と運動の楽しさや喜びを味わう授業
 - ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる学習活動を行う。

（学習活動例）ペアで見合うハードル走（ハードル走をタブレットで撮影し、ペアでお互いのよさや改善点を話し合う学習活動）

- ② タブレットを活用して、自分のフォームを撮影し、お手本と比べたり、仲間と修正点を考えたり、補強運動を行ってから再チャレンジしたりするなど、児童生徒が考え創意工夫する学習活動を行う。
- ③ 「できないこと」を「できるようにする」苦手克服型の体育の授業は児童生徒に苦痛や心理的なストレスを与えることが多いことから、「児童生徒の好きなこと・できること」を広げ・伸ばす指導へ指導観の転換を図り、児童生徒が楽しく取り組める授業を行う。

（学習活動例）できるから始める跳び箱運動（跳び箱の段数を変えたり、横向きにしたり、マットを跳び箱に見立てたりするなどして、多様な場を用意し、児童生徒が自己の程度に応じ、できるところから選択して進められる学習活動）

- ④ 小学校低学年における体育では、「〇〇遊び」が多いことから、児童が喜ぶ遊びのストーリーを設定して、児童と一緒に創りながら、体を動かす楽しさや心地よさを体感させる。

(3) 外部の専門家や中学校等と連携した出前授業等の実施による教師の指導力の向上（指導力の向上）

体育の授業で児童生徒が好き（得意）な運動を見つけたりできるようにするためには、教師の専門的な指導力の向上が必要である。

- ① 教育大学等の出前授業などを積極的に活用し、専門的な指導に触れるとともに、児童生徒にその運動種目の楽しさを体験させる。
- ② 小学校においては教師の体育指導の研修も兼ね、コミュニティ・エリアの中学校保健体育教師の協力を得て、器械運動や陸上運動など専門的な指導力の必要な種目の乗り入れ授業などを年に数回実施する。

(4) 児童生徒が遊びなどを通して運動に親しむことのできる学校環境の整備（環境の整備）

児童生徒が日常的に運動に親しむ習慣を身に付けるためには、自然と運動したくなる環境を工夫する必要がある。

- ① 体育館やグラウンドに50m走のスタートとゴールのラインを常設したり、反復横跳びのラインを引いたりして、休み時間に児童生徒が気軽にチャレンジできる体力づくりの場の工夫を行う。
- ② 体育館の壁に的当てゲームの的を常設したり、グラウンド一周の冒険コースや築山からの下りコースを含めたトリムコースを設置したりするなど、児童生徒が遊びに向かう環境を整備する。また、保護者などの協力を得て、竹馬やケンパ、ゴム跳びなど昔遊びの紹介なども積極的に行う。
- ③ 小学校においては、中休みや昼休みは教師も一緒に遊びに加わり、楽しみながら運動に親しむ児童の育成に努める。

(5) コミュニティ・エリアや家庭・地域と連携した運動やスポーツの奨励と運動習慣の形成（地域との連携）

児童生徒の体力や運動能力を向上させるためには、学校における体育（保健体育）や部活動などの体育活動に加え、家庭や地域と連携し、地域行事や少年団活動への参加など体育活動の幅を広げる必要がある。

- ① PTA 活動や保護者会など、あらゆる機会や学校だより等を活用し、自校の体力の状況を周知するとともに、家庭と連携して児童生徒に運動やスポーツを積極的に行うよう継続的に働きかける。特に、冬期間の運動遊びを奨励する。
- ② 児童生徒に少年団活動や各種スポーツ大会、スポーツ教室等の紹介を行うとともに、積極的な参加を奨励する。